

会長のページ 日本医師会と日本医師連盟	稲倉 正孝	3
日州医談 特養入居者に係る医療行為について	立元 祐保	4
地域産業保健センター事業について	大塚 直純	6
随 筆 思いやりの言葉かけを	谷口 二郎	8
エコー・リレー(422)	油屋 順子, 二見 要介	9
メディアの目 「風吹けば...」	橋口 義春	13
国公立病院だより(美郷町国民健康保険西郷病院)	東 善昌	14
宮崎大学医学部だより(感染症学講座微生物学分野)	林 哲也	16
部会だより(労災部会)	小牧 一磨	17
診療メモ カテーテルアブレーションに関して	名越 敏郎	72
宮崎県感染症発生動向		10
あなたできますか?(平成 21 年度医師国家試験問題より)		12
各種委員会(医療保険委員会, 介護保険委員会, 第 1 回公益法人化検討委員会)		19
第 11 回宮崎県医師会医家芸術展		25
初期医師臨床研修 / 修了後専門研修説明会 in みやざき		26
第 2 回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会		27
第 1 回各郡市医師会長協議会		28
各専門分科医会長会		30
県糖尿病対策推進会議幹事会		31
九州医師会連合会第 31 回常任委員会		32
第 5 回九州ブロック学校保健・学校医大会, 平成 22 年度九州学校検診協議会(年次大会)		33
薬事情報センターだより(281) 高血圧治療配合剤		37
日医 FAX ニュースから		38
医師国保組合だより		40
理 事 会 日 誌		44
ベストセラー		47
県 医 の 動 き		48
追悼のことば		49
会員の異動・変更報告		50
ドクターバンク情報		53
行 事 予 定		57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会		59
宮大医学部学生のページ(第 6 回清花祭)		74
あ と が き		78
~~~~~		
お知らせ 「新春随想」原稿募集 .....		18
宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ .....		20
宮崎県医師会親善ゴルフ大会 .....		24
平成 22 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い .....		29
日州医事投稿についてのお知らせ .....		52
郡市医師会への送付文書 .....		76

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 油絵〕

### 記憶の旋律

旋律の表現に雑誌を小片に切り取ってカンバスに張りつけてみました。

全体に調和するよう、その上から絵の具でなじませています。

素人ながら、いつも音楽にかかわって生きて来られたのは幸運でした。

耳を澄ませば遠い、遠いあの日の旋律が静かに聞こえて来る。そんな穏やかな絵になっているでしょうか。

西都市 あん どう のぶ  
安 藤 宣

## 会長のページ

## 日本医師会と日本医師連盟

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

田中角栄元首相の金脈問題、リクルート事件を契機に、選挙制度と政治資金制度の抜本的改革が大きな政治課題となった。1994年に企業・労働組合・団体などから政党・政治団体への政治献金を制限する代償として、政党助成法を含む政治改革四法が成立した。

政党助成法に基づく政党交付金の総額は、国民1人あたり250円で、直近の国勢調査で判明した人口を基に計算される。平成22年度の政党交付金の総額は、平成17年の国勢調査の人口を基に計算され、約319億4千万円もの膨大な金額になっている。平成22年分政党交付金の決定額は、民主党が約173億円、自由民主党が約104億円、公明党が約24億円、社民党が約8億6千万円等となっている。助成金の半分は1月1日現在の政党の所属国会議員の割合(議員数割)、残り半分は直近の国政選挙の得票率(直近の衆議院総選挙と過去2回の参議院通常選挙)に応じて、各政党に配分される(得票数割)。

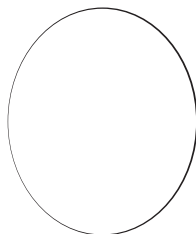
同時に、国政選挙に小選挙区比例代表並立制が導入された結果、投票率の差が増幅されて当選国会議員の差となり、政権交代が容易に起こり得るようになった。

このような国政選挙の流れ、政治資金の仕組みの変化に日本医師連盟及び会員は、十分に対応していないのではないかと。政党・国会議員は今まで以上に1票の重みを認識しているのに、日本医師連盟及び会員の意識はどうだろうか。ある政党に100万票を提供するということは、大雑把にみて2億5千万円以上の政治資金を毎年提供し、権力基盤を与えることになる。民主主義では政権は国政選挙の結果によって決まる。今回の日本医師連盟が行った参議院選挙の結果を政党・国会議員・国民および会員はどのように評価しているのだろうか。日本医師連盟及び会員は、1票が政党の政治資金と政治権力の基盤であることを強く意識して行動する必要があると思う。票数こそ政治力の基盤である。その意味で、日本医師連盟は十分に機能しているとは言えない。会務に多忙な日本医師会役員と日本医師連盟役員とが全く同じでは政治活動に十分な力を発揮することができない。また、国民の目線からみても、公益法人の活動と政治団体の活動との峻別ができない。

以上のような理由で、日本医師連盟と日本医師会は別組織にすべきと考える。日本医師会は医療政策・医療制度の立案・提言、関係省庁との折衝・中医協での議論に全力を傾注し、日本医師連盟は票の獲得を最重要視した地方に重点を置いた組織にすべきと考える。会長、担当副会長1人、担当理事1～2名が役員を併任すればよいと考える。日本医師連盟役員は、各ブロックに振り分け、責任を分担し、地方に根付いた強力な組織作りを目指すべきと考える。全国で100万票、国民100人当たり1票、会員1人当たり10票を目標に力を結集しようではないか。国民の健康と生命を守るにふさわしい医療環境を整えるためには、日本医師会と日本医師連盟は車の両輪として機能する必要がある。

(平成22年9月2日)

## 日州医談



## 特養入居者に係る医療行為について

常任理事 たつ立 もと元 すけ祐 やす保

去る 6 月、県内の特養(特別養護老人ホーム)の嘱託医(配置医師)宛に、宮崎県福祉保健部国保・援護課から、「特別養護老人ホーム等入所者に係る診療報酬の算定等について」と題する文書が出された。その内容の要点は下の通りである。

施設内(特別養護老人ホーム等)に配置している職員が行った医療行為については、算定できません。したがって、点滴注射等(手技料、薬剤料)の算定はできません。医療機関(自院)の看護師等が医師の指示により単独で施設に赴き、点滴注射等を行った場合でも、手技料はもちろん薬剤料も算定できません。

この通知をみて、多くの会員は、もう特養では点滴などの医療行為は行えないと感じた。国は、高齢者を病院から追い出し在宅や特養等高齢者施設での終末医療、看取り介護を勧めているにも関わらず、一方で施設嘱託医の医療行為を萎縮させるような通知を出すことは明らかに矛盾している。

もとより、特養の嘱託医は再診料、往診料、諸加算は算定できない。その上点滴の薬剤料も算定できないということになれば特養の嘱託医にとっても患者さんにとっても由々しき問題である。

会員からは、「費用は誰が負担せよと言うのか」「入居者には点滴するなと言うことか」「早く死ねと言うことか」「こんなことでは責任が持てな

いので、もう配置医師は辞める」等様々な怒りの意見が寄せられた。中には「患者家族と話し合っ

て自己負担で点滴することにした」との意見もあった。会員から、様々な戸惑いの声が非常に多かった。ので県に確認した。県からの回答は、上記通知の説明として、「診療の補助業務の範疇として、皮下筋肉注射と静脈注射(静脈内注射、点滴注射)は看護師等による医療機関外での実施が認められているが、薬剤料の算定ができるのは、在宅患者訪問点滴注射管理指導料に係る在宅患者訪問点滴の指示があった場合の点滴注射の薬剤料のみであること及び医師の技術を評価する手技料は算定できないことの確認であること。なお、特別養護老人ホーム等に入所している患者については、国の通知『特別養護老人ホーム等における療養の給付の取扱について(平成 2年 3 月 30日保医発 0330第 2 号)』により、在宅患者訪問点滴注射管理指導料の対象にはならないこととされていること」。

回答を原文のまま紹介するとこの通りである。いかにも、お役所らしく難解な文章だが、どうやら「在宅患者訪問点滴注射管理指導料」の説明をしているようだ。県は、「特養では在宅患者訪問点滴注射管理指導料の対象にはならない」と説明しながら、「在宅患者訪問点滴注射管理指導料」のルールに反するから駄目だと通知している。しかし、配置医師の認識は、「往診」での点滴である。バスケットボールをしているのにサッカーのルールを適用しイエローカードを出すような

ものである。

県医師会としては、「このままでは、嘱託医が特養から離れ施設での医療が混乱すること。また、点滴の一部を患者負担とすることで混合診療の疑いが発生すること」を懸念し県の真意を質した。その結果、この度の県の通知は点滴などの医療行為を制限する目的ではないことを確認した。

通知 については、医師は診察の上で投薬や点滴を行うのは当然のルールである。しかし、県の通知では点滴を制限しているようにしか思えない。県としても、施設入所者の医療を安心して行えるよう保障すべき立場として、「手技料はもちろん薬剤料も算定できません」とできないことを改めて禁止するのではなく、「点滴等は、診察の上で行って下さい」と、規則に反せずにて

きることを指導すべきであろう。

現在の規則では、必ず診察の上で点滴等をするになっている。この点は配置医師としては注意しなければならない。

特養には点滴が必要な多数の入居者が常にいる。1人の嘱託医が盆も正月も毎日往診するのは厳しい。したがって、報酬体系の中で頻回に往診して患者さんの状態がはっきり分かっている場合や看護師から十分な状況説明がある場合は、休日位は診察がなくても薬剤料や手技料算定を認める制度を作っていただきたい。そうでなければ特養における看取りや、終末医療などできるはずがない。この点を改善すべく、取組んでいただくよう宮崎県医師会として稲倉会長名で日医に強く要望した。

日医への要望書を添付する。

日本医師会長  
原中 勝征 様

宮医発第 29号  
平成 22年 8月 16日

宮崎県医師会長 稲 倉 正 孝

#### 特別養護老人ホーム等入所者に係る診療報酬の算定について( 要望 )

謹啓 時下益々ご清栄のことと拝察致します。

日頃より昼夜を問わず会員のためにご尽力いただいていることに敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

さて、ご承知の通り、国の財政主導で根拠の無い病床再編等により、色々なところで大きな歪みが出ています。

特に特別養護老人ホームは、重度要介護者の生活の場と位置づけられ、サービスの質や安全性、および経営の安定性の確保等、一定の基準が求められているのにもかかわらず、配置医師の診療行為に対し診療報酬算定上に大きな縛りがあります。施設看護師が行った場合、採血・点滴等に対して医療保険での請求は認められないのみならず、自院の看護師が施設に赴いて行った点滴等についても手技料はもちろん薬剤料も算定できないとの通達が出され、十分な医療が阻害されている現状となっています。

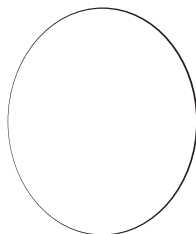
本来ならば、医療の必要な入所者は状態に応じて、介護施設から医療施設へ移動すべきところですが、介護難民、医療難民が出ている現状では、その場に留まらざるを得ないこともまた実態であります。

国は、施設や病床の整備が整わない中で、高齢者を医療機関から追い出し、在宅や特別養護老人ホーム等で終末医療、看取り介護を勧めているにも関わらず、一方で施設嘱託医等の医療行為を制限していることは大きな矛盾と言わざるを得ません。

今まで、医療と介護の隙間を埋めるため、現場の努力と犠牲により持ち堪えてきましたが限界にきています。早急に厚生労働省と協議し、診療報酬算定上の制限解除と患者の状況に応じたきめ細かい対応が可能な制度にさせていただくよう要望いたします。

謹白

## 日州医談



## 地域産業保健センター事業について

常任理事 おお つか なお ずみ  
大 塚 直 純

地域産業保健センター（以下：地産保）事業は、産業医選任義務のない 50 人未満の小規模事業場を対象とした健康相談窓口の開催、個別訪問産業保健指導等である。本県の地産保の運営は、宮崎市郡医師会（宮崎中部地産保）、都城市北諸県郡医師会（都城・西諸地産保）、延岡市医師会（宮崎県北地産保）、南那珂医師会（南那珂地産保）の県内 4 か所で、それぞれの郡市医師会がコーディネーターを活用して、産業医や保健師等との連絡体制を構築いただき、限られた予算と大きな制約のなか、順調かつ適切に運営されてきた。これまでの郡市医師会のご協力に心から感謝申し上げたい。

しかしながら本年 1 月に、民主党政権の目玉である事業仕分けにより、労働基準監督署単位（全国 34 か所）の契約から都道府県単位（47）での契約への事業変更をするように、突然連絡があった。本県では 4 郡市医師会と協議を行い、平成 22 年 4 月から宮崎県医師会が企画競争に応募する形で、受託団体として労働局と委託契約を締結したので、その経緯と問題点を挙げてみたい。

今回の全国規模での契約変更に至った経緯は、平成 19 年度の予算についての会計検査院の指摘で、県外の複数の地産保で不適正経理が発見され、厚労大臣から再発防止を図るようにと指示

があった。謝金や交通費について、労働局と検査院の見解の相違は確かにあったが、事業運営面の脆弱性や、地産保センターが 34 に分かれていることから解釈の不整合が起こったと考えられ、また、同じ県内でもセンターごとにニーズに差があり、予算流用の際の手続きが煩雑であったため、事業運営方法を都道府県単位の契約に変更し、柔軟に予算を傾斜配分できるほうがいいのではないかという議論が厚労省内にあった。

その後、地産保の支援や、労働者 50 人以上の事業場を対象に産業保健に関する専門的相談や情報収集提供を行うため各都道府県に設置されている産業保健推進センター（以下：推進センター）までも事業仕分けの対象となり、厚労省内で事業規模を 3 分の 1 に縮減する案を提示したところ、事業仕分けでは、3 分の 1 縮減にとらわれない更なる縮減を求められ、計画的に 25 年度までに推進センターを集約化されるため、全国的に推進センターが減少すると考えられる。

厚労省は、今後の産業保健活動についての重点事項として、メンタルヘルス対策の強化と過重労働対策の推進を掲げており、この 2 点について、重点化した予算要求を行っていくとのことである。メンタルヘルス対策については、従

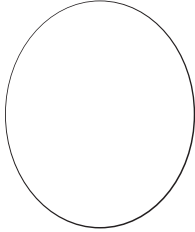
来は都道府県労働局や基準監督署のパンフレット等による普及啓発や周知にとどまり、具体的に事業場に体制作りを指導するツールを持ち合わせていなかった。しかし昨年度から、労働局および基準監督署が個別指導を行うようになり、メンタルヘルス対策支援センターが支援を実施し、取組み状況について労働局および基準監督署に報告を行い、行政と支援センターが一緒になって職場におけるメンタルヘルスの体制作りを促進していくことになった。メンタルヘルス対策支援センターは、今年度は推進センターに委託しているため、来年度から推進センターが集約化された場合、推進センターがない都道府県への対応が課題だが、いずれにしても4都道府県で従来通り展開することには変わりはない。また、メンタルヘルス対策に関する新しい動きとして、健診時にメンタルヘルスの要素を取り入れることによって、事業者にも認識を持ってもらいたいというねらいで、職場におけるメンタルヘルス対策・職場復帰支援の充実が掲げられており、職場の体制整備、個人への対応などの対策の充実が盛り込まれている。

過重労働対策の推進については、現在、健康診断での有所見率が年々増加しているため、今までの有所見率の低下に関する漠然とした対策ではなく、もう少し労働局および労働基準監督署が、事業場に対する重点的な周知啓発の実施や自主点検表を活用した個別指導等、具体的な対策を講じることで、健康診断後の保健指導や医師の意見聴取のニーズが格段に高まることをねらいとしている。

今回の地産保事業の受託については準備期間があまりにも短すぎたが、4月からの地産保事業がストップしてしまわないよう、各県ともやむを得ない状況であったため、本県では県医師会が受託せざるを得なかった。全国でみると47都道府県のうち3が都道府県医師会、10が推進センターで受託している。産業医選任義務のない50人未満の小規模事業場の労働者の健康管理に大きく貢献しているにも関わらず、中小企業の労働者を守ろうと努力している現状を十分理解しないままに、事業仕分けにより突然の事業の縮小と予算の削減、統合が行われたことを大変遺憾に思っている。また、早急な改革だったために、全国をみても、実際事業を進めていくうちに問題が多々出てきているようである。日医としても、厚労大臣、労働衛生局長に対し、中小企業の労働者のためにきちんとした政策を取ってほしいという要望書を提出したとのことであるので、今後の動きに注目していきたい。

最後に、本会がこの地産保事業を引き受けたが、委託金の使用範囲が非常にせまく、県医師会の事務経費等は認められないうえに、各地産保の事業に対しても十分な活動費が配分できない。都道府県医師会から持ち出しにならないような十分な予算措置を国が取らなければ、来年度からの事業を円滑に進めることは難しい。しかしながら、労働者の健康を守るための産業保健活動の充実は医師会として重要な活動であるので、本会としてもできる限りの協力を行っていかねばならないと考えている。

## 随 筆



## 思いやりの言葉かけを

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たに谷 ぐち口 じ二 ろう郎

友人が心筋梗塞と診断され、緊急に処置が必要となった。心臓へ血液を送る冠動脈が詰まっていて、バルーンという小型の風船を血管に入れ、広げる風船治療を受けなくてはならなくなったという。

ところがその方法を実際やってみたがうまくいかず、次の手段としてバイパス手術をする事になった。病院の先生が「風船は上手くいかなかったけど、他にバイパス手術がありますから心配しなくてもいいですよ」と慰めてくれた。その病院では手術が出来ないので、他の病院を紹介され受診した。

バイパス手術は見事成功。術後、その先生はこう言った。「本当は手術をしなくてもいい状態でした。でも思い切って活動出来るようにバイパス手術をしておきました。これで 10 年は長生き出来ますよ」。普通は 10 年も持てば恩の字だと思うのだろうが、その人は目の前が真っ暗になったという。「私はたったの 10 年しか生きられないのか...」と。

再び前の病院に戻り、定期検診を受ける事になった。するとその先生がこう言った。「世界でバイパス手術をして一番長生きした人は 16 年です」そこで又目の前が真っ暗になった。どんなに頑張っても 16 年か...。さらに気持ちが落ち込んだ。しかし思い直して今は、「16 年以上長生きしてバイパス手術をした患者の世界記録を破りギネスブックに載ってやる」と、闘志を燃やしているという。

さて、日本の医師は事実を単刀直入に言う傾向がある。例えば事故で足を切断したら次のように言うのだそうだ。「あなたは車いす生活になります」。一方米国ではこう言うという。「あなたは今まで出来たような全力疾走は出来ません。しかしその他の事は何でも出来ます。自由に動かせる手があり、見たり聞いたりする目や耳があります。だから全力疾走以外は何でも出来ません」。確かにそうだ。

考えてみれば、私もかなり失礼な事を患者さんに言ってしまってきたのではないかと思う。以前、不妊で悩む女性が来院された。いろいろ検査をしてみると、御主人の精子が全くない無精子症である事が判明した。そこでその女性に「今の御主人との間では残念ながら妊娠出来ません」と言う。「じゃあ、どうしたらいいのでしょうか?」と尋ねる。そこで「パートナーを変えない限り妊娠は無理です」と言うと、女性は肩を落として診察室から出て行った。

それから 2 年後、その女性が生理が止まったと来院された。調べてみると見事妊娠していた。目を丸くしてその女性に尋ねてみた。「どうやって妊娠したのですか?」すると「どうしても子供が欲しかったんです。そこで離婚して新しい男性と結婚しました。そして妊娠をしたという訳です...」。

一瞬、えっと思った。そして正直に 2 年前告げた事を後悔した。私の一言が原因で離婚してしまうなんて...。前の旦那さんになんてお詫びをすればいいのだろう。その後、彼女は 3 人の子供の母親になった。

医者の一言がその患者の一生を左右する。親切心で言った言葉がその人をズタズタに傷つける事もある。エビデンス(根拠)というのは大切だ。そしていろんなデータを示し、いろんな治療法を説明する事も大切な事だろう。しかしケースバイケースという事もある。

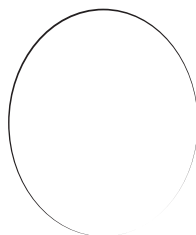
例えば、ある手術をして失敗する確率は 1% とする。100 人手術を受け、99 人は無事退院出来るということだ。それをたった 1% と理解するか、1% もと考えるか。その患者がその 1% に含まれるとすれば、実際はその患者にとっては 100% という事になるのだ。そう考えると軽々しく「失敗率はたった 1% ですよ」と言うべきではない。やはり医師の一言は重い。説明する際は十分に言葉一つ一つに責任をもたなくてはならない。医師としても、人間としても...

## エ コ ー ・ リ レ ー

( 42回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 高校球児たちに感謝

宮崎市 古賀駅前クリニック ^{あがら}油 ^や屋 ^{じゅん}順 ^こ子

私が卒業した頃のM高校は、創立して日も浅く、O高校に“追いつき、追い越せ”と勉強ばかりで、楽しい思い出がなかった。行事のたびに歌わされた校歌も何となく野暮ったく感じて好きになれなかった。

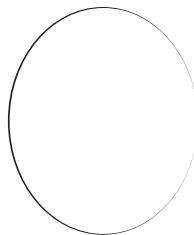
卒後も高校生には絶対戻りたくないと思っていたし、自分から出身校を言い出すのはばか程、愛校心なんてなかった。

卒後 13年目の夏、それが変わった。母校が甲子園に出たのだ。テレビの県大会の準決勝に母校の名前を見つけた時の驚き！失礼な表現だが、その存在をすら知らなかった影の薄い野球部だったので、半信半疑でテレビにかじりついた。なんと、決勝に進出した。嬉しくて会場へ応援に行き、とうとう甲子園にも応援に行った。アルプススタンドに集った人達と選手の一挙手一投足にハラハラし、声をはりあげて応援した。最後にスクイズで勝った瞬間、全員が総立ちになり、歓喜の中で歌ったのが校歌だった。年齢も職業も違う、今日初めて会う人もいる。この雑多な集団が全員知っている歌だ。何年も歌ったことがない歌なのに、懐かしい前奏が流れてきたら、ちゃんと歌詞が歌える。歌いながら会場の気持ちが一つになるのを感じた。不思議な感動だった。校歌を、初めていいなと思った。

今夏、息子たちの高校が無シードから勝ち上がって県大会の上位に進出した。学校は補習をやめて、生徒全員をスクールバスで会場へ移動させ、学校総出の応援になった。声をあげ、会場総立ちになって応援する生徒の姿に、あの夏の試合を思い出し心が熱くなった。母校っていいな、校歌っていいな、そんな感動をくれた野球部員達に心から感謝したい。

〔次回は 小林市の阿多 京子先生にお願いします〕

## デジタルに嫌われてる？！

都城市 ふたみ眼科 ^{ふた}二 ^み見 ^{よう}要 ^{すけ}介

8月 12日セルフのガソリンスタンドに行く。満タンにしようと思い万札を投入したところ、金額が表示されない。呼び出しボタンを押して店員さんと呼ぶ。店員さん、中をあけて、「詰まってははいないで

すね。すいませんが事務所の方へきていただけますか？」その後、領収書発行口に前の人のレシートが詰まっているのを発見、それを取り除くと投入口から私の入れた(と思われる)1万円が出てきた。これをみた店員さん、画面を操作して「大丈夫でした。給油OKです」「私の疑いは晴れたのでしょうか？」と聞くと、「すいません、サービスしておきました」。

8月 13日宮崎から ETC で高速に乗る。都城の ETC ゲートを通過したあと ETC 装置がピーピーと鳴り始める。何かかと思い、すぐさま事務所に駆け込んだ。「大丈夫です。ちゃんと課金されています。ただ、カードが読み取りにくくなっています。静電気をおびていたり、読み取り面が汚れているとこうなりますので、時々拭いてきれいにしてください」「どうやって拭けばよいですか？」と聞くと、「ティッシュでいいですよ」。

ちょっと、安心したが両件とも結構時間をとられた。デジタルに嫌われている？

〔次回は 高鍋町の永友 孝幸先生にお願いします〕

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 8 月 ～

平成 27 年 8 月 2 日～平成 27 年 8 月 29 日( 第 31 週～ 34 週 )

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：結核 19 例が宮崎市・延岡( 各 5 例 )、都城( 4 例 )、日南・小林( 各 2 例 )、日向( 1 例 )保健所から報告された。患者が 7 例、疑似症患者が 6 例、無症状病原体保有者が 6 例で、患者は肺結核が 6 例、その他の結核( 気管支結核 )が 1 例であった。男性 11 例、女性 8 例で、20 歳代・50 歳代・70 歳代が各 3 例、30 歳代・80 歳代が各 2 例、40 歳代が 5 例、90 歳代が 1 例であった。

3 類：腸管出血性大腸菌感染症 13 例が延岡( 5 例 )、宮崎市・高鍋・日向( 各 2 例 )、日南・中央( 各 1 例 )保健所から報告された。患者が 9 人、無症状病原体保有者が 4 人で、主な症状は水様性下痢、腹痛、発熱であった。原因菌の血清型は O 157 (VT 1 産生) が 1 例( 有症者 )、O 157 (VT 2 産生) が 6 例( 有症者 5 例、無症状 1 例 )、O 157 (VT 1, VT 2 産生) が 4 例( 有症者・無症状各 2 例 )、O 91 (VT 1, VT 2 産生) が 1 例( 無症状 )、O 165 (VT 2 産生) が 1 例( 有症者 )であった。年齢別では 10 歳未満が 6 人、10 歳代・40 歳代・60 歳代・70 歳代がそれぞれ 1 人、20 歳代が 3 人であった。

4 類：○デング熱 1 例が宮崎市保健所から報告された。フィリピンに渡航歴のある 20 歳代の女性で発熱、全身の筋肉痛、血小板減少、白血球減少がみられた。

○日本紅斑熱 3 例が宮崎市( 2 例 )、日南( 1 例 )保健所から報告された。

・30 歳代の女性で発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。

・30 歳代の男性で発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常がみられた。

・70 歳代の女性で発熱、発疹がみられた。

5 類：アメーバ赤痢 2 例が宮崎市・都城( 各 1 例 )保健所から報告された。

・40 歳代の男性で腸管外アメーバ症。発熱、肝膿瘍がみられた。海外での感染と思われる。

・30 歳代の男性で腸管アメーバ症。下痢、粘血便、腹痛がみられた。

表 前月との比較

	8 月		7 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 た(人)	報告数 (人)	定点当 た(人)	
インフルエンザ	0	0.0	1	0.0	
RSウイルス感染症	12	0.3	14	0.4	
咽頭結膜熱	70	1.9	82	2.3	
溶レン菌咽頭炎	122	3.4	206	5.7	
感染性胃腸炎	876	24.3	1,260	35.0	
水痘	158	4.4	351	9.8	
手足口病	549	15.3	916	25.4	
伝染性紅斑	37	1.0	38	1.1	
突発性発しん	228	6.3	259	7.2	
百日咳	3	0.1	2	0.1	
ヘルパンギーナ	162	4.5	594	16.5	
流行性耳下腺炎	303	8.4	525	14.6	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	96	16.0	101	16.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	3	0.4	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	1	0.1	0	0.0	

例年同時期( 過去 3 年の平均 )より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 2,620 人( 定点あたり 86.6 )で、前月比 64% と減少した。また、例年と比べるとほぼ同数であった。

前月に比べ特に増加した疾患はなかった。減少した主な疾病はヘルパンギーナと水痘であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾病は RS ウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、流行性耳下腺炎であった。

RS ウイルス感染症の報告数は 12 人( 0.3 )で前月の約 9 割、例年の約 6.4 倍であった。都城( 0.7 )、宮崎市・日向( 0.5 )保健所からの報告が多く、全て 2 歳以下の報告であった。

伝染性紅斑の報告数は 37 人( 1.0 )で前月とほぼ同数、例年の約 1.6 倍であった。都城( 3.8 )、小林( 3.0 )保健所からの報告が多く、年齢別では 4 歳から 5 歳で全体の約 4 割を占めた。

手足口病の報告数は 549 人( 15.3 )で前月の約 6 割、例年の約 1.4 倍であった。日向( 32.0 )、延岡( 20.8 )、高鍋( 18.0 )保健所からの報告が多く、1 歳から 3 歳で全体の約 7 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 303人( 8.4)で前月の約 6 割, 例年の約 1.4倍であった。延岡( 27.0), 日向( 26.5)保健所からの報告が多く, 年齢別では 2 歳から 6 歳で全体の約 7 割を占めた。

## ■月報告対象疾患の発生動向 8 月

### □性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数： 13

定点医療機関からの報告総数は 63人( 4.9)で, 前月比 170%と増加した。昨年 8 月( 4.3)の約 1.1倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数 37人( 2.9)で, 前月の約 1.4倍, 前年とほぼ同数であった。都城( 6.0), 日向( 5.0), 日南( 4.0)保健所からの報告が多く, 男性 22人, 女性 15人で, 20歳代が全体の約 4 割, 10歳代・30歳代がそれぞれ全体の約 2 割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数 9 人( 0.69)で, 前月の約 9 倍, 前年の約 1.8倍であった。男性 4 人, 女性 5 人で, 20歳代が全体の約 6 割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数 3 人( 0.23)で, 前月の約 3 倍, 前年の約 1.5倍であった。男性 2 人, 女性 1 人で, 10歳代, 30歳代, 40歳代がそれぞれ 1 人であった。
- 淋菌感染症：報告数 14人( 1.1)で, 前月の約 1.6倍, 前年の約 1.2倍であった。男性 13人, 女性 1 人で, 20歳代が全体の約 4 割, 30歳代が全体の約 3 割を占めた。

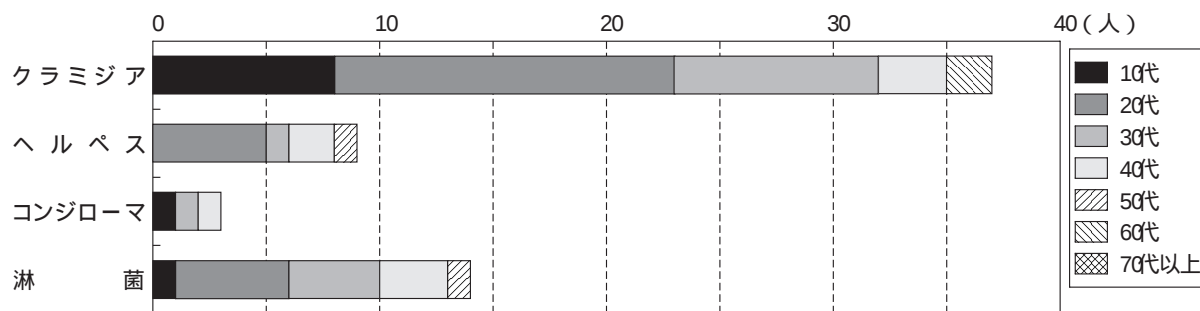


図 年齢別性感染症報告数( 8 月 )

【全国】定点医療機関総数： 964

定点医療機関からの報告総数は 4,453人( 4.6)で, 前月比 99%であった。疾患別報告数は, 性器クラミジア感染症 2,293人( 2.4)で前月比 100%, 性器ヘルペスウイルス感染症 746人( 0.77)で前月比 100%, 尖圭コンジローマ 442人( 0.46)で前月比 90%, 淋菌感染症 972人( 1.0)で前月比 102%であった。

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数： 7

定点医療機関からの報告総数は 38人( 5.4)で前月比 109%と増加した。また昨年 8 月( 5.7)とほぼ同数であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 32人( 4.6)で, 前月の 1.6倍, 前年の約 1.3倍であった。日南( 8.0), 宮崎市( 7.0), 延岡( 6.0)保健所からの報告が多く, 70歳以上が全体の約 7 割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数 6 人( 0.86)で, 前月・前年の約 4 割であった。宮崎市( 5.0)保健所からの報告が多く, 1 歳から 9 歳が全体の約 8 割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】定点医療機関総数： 468

定点医療機関からの報告総数は 2,563人( 5.5)で, 前月比 99% であった。疾患別報告数は, メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 2,164人( 4.6)で前月比 103%, ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 340人( 0.73)で前月比 74%, 薬剤耐性緑膿菌感染症 59人( 0.13)で前月比 144%であった。

( 宮崎県衛生環境研究所 )



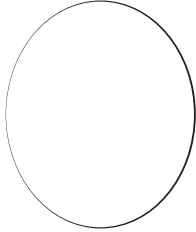
## あなたできますか？

— 平成 21 年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 77 ページ )

1. 既に告知済みの終末期のがん患者から「先生、もうだめなんではいしょうか」と尋ねられた。  
対応として適切なのはどれか。  
a 「今忙しいので後にして下さい」  
b 「そう考えるのはよしましょう」  
c 「そう思えてきてしまうのですよね」  
d 「がんばらないとだめですよ」  
e 「大丈夫、よくなりますよ」
2. 一般用語と専門用語の組合せで誤っているのはどれか。  
a backbone ——— spine  
b belly ————— abdom en  
c chickenpox ——— varicella  
d forehead ——— cranium  
e sleeplessness ——— insom nia
3. スクリーニングについて誤っているのはどれか。  
a 偽陰性が少ないほど有用である。  
b 感度を高くすると特異度は低くなる。  
c カットオフ値はROC曲線で決める。  
d 陽性尤度比が大きいことが望ましい。  
e 検査前確率が低いと偽陽性が少なくなる。
4. 寝たきりの患者に浮腫がないか確認したい。  
軽度の浮腫を見逃さないために診察する部位はどれか。  
a 前額部  
b 手背部  
c 仙骨部  
d 前脛骨部  
e 足背部
5. 躁状態でみられないのはどれか。  
a 過 眠  
b 概念奔逸  
c 気分高揚  
d 誇大妄想  
e 談話心迫
6. 統合失調症の心理・社会的側面への配慮として適切なのはどれか。  
a 妄想は否定し根気強く説得する。  
b 患者にも家族にも病名は告知しない。  
c 幻覚については患者の体験を尊重する。  
d 幻覚妄想の治療として生活技能訓練を行う。  
e 薬物療法を終了してから心理・社会的治療を行う。
7. 血管性と神経性の間欠性跛行の鑑別に有用なのはどれか。  
a 過去の転倒回数  
b 連続歩行可能な距離  
c 朝のこわばりの有無  
d 階段昇降時の手すりの要否  
e 症状を解消するための休息姿勢
8. 膀胱癌と動脈硬化に共通する危険因子はどれか。  
a 飲 酒  
b 過 食  
c 過 労  
d 喫 煙  
e 不 眠
9. チーム医療で誤っているのはどれか。  
a 診療情報の共有  
b 患者中心の医療の実践  
c 異なる職種間の連携と協力  
d 患者、家族の心理面のサポート  
e 医師を頂点とした指示体制の確立
10. 輸血で正しいのはどれか。  
a 口頭での同意が必要である。  
b 新鮮凍結血漿の適応は凝固因子の補充である。  
c 白血球除去フィルターは輸血後GVHDを予防できる。  
d 血小板数 5 万以下の場合は濃厚血小板輸血の適応である。  
e PCR 法検査の導入以降、輸血後HIV感染症は認められていない。

## メディアの目



## 「風吹けば...」

M R T 宮崎放送常務取締役 報道局長

はし ぐち よし はる  
橋 口 義 春

鳥インフルエンザに立ち向かう東国原知事の雄姿が全国に放映されたのは3年半前のことである。一躍メディアの脚光を浴びた知事の東奔西走により宮崎地鶏は全国区になった。まさに知事がいう「ピンチをチャンスに！」が現出した場面である。

なぜ？東国原知事は誕生したのか。

鳥インフルエンザ騒動の2か月前、宮崎県は橋梁設計入札の官製談合事件で揺れていた。複数の県幹部が逮捕され知事迄が辞職に追い込まれ逮捕されたのである。その直後の知事選で幸運の矢を得たのが東国原氏であった。この話には更に前段がある。現職知事辞任の要因となった橋梁設計は田野町から鰐塚山頂に向かう道路の橋だが、この橋は前年9月に宮崎を襲った台風14号の大規模豪雨災害で山ごと林道ごと崩落していた。鰐塚山頂は、放送局や国・県の機関など10以上の無線施設が軒を並べる重要拠点であり、地上デジタル放送開始を1年後(2006年12月)に控えていた我々はデジタル放送設備工事のため1日も早い鰐塚山頂への道路復旧を県に要請していた。この道路の最初の取付橋が官製談合事件の舞台となったのである。いわば台風14号が東国原知事を誕生させたと言えなくもない。“風吹けば...”である。

そして、昨年(2009)の出来事。5月のGW、メキシコから成田空港に到着した旅客機に白衣の検査官が乗り込み温度センサーで乗客の体温を測るニュース映像を覚えておられるだろうか。新型インフルエンザに対する水際防疫体制のひとつまである。メキシコでは既に新型インフルエンザで100人以上が死亡していた。その後、日本でも死亡者が出始めて新型インフルエンザのワクチンが入手できるのか日本中が大騒動になった。昨年東京支社に勤務していた私は通勤電車がみるみるマスク姿で埋まり、街ゆく人々のマスク姿は夏になっても減る気配がなかったのを記憶している。喘息の持病がある家内はワクチンが確実に手に入るのか気を揉んでいた。昨年はワクチンが生命を守る重要な場面だった。

ところが、今回の口蹄疫ではワクチンを接種

した牛や豚は全て殺処分されたのである。口蹄疫のニュースを追いながら何とも割り切れぬ日々が流れた。今回の口蹄疫ウイルスがどこからどのように宮崎に持ち込まれたのか原因究明はこれからだが、被害額は2,350億円(県試算)にも上る。この金額はあのシーガイアを建設した資金をはるかに上回る金額である。

ところで、日本の神社には必ず鳥居がある。その昔天空の動きと季節は神が支配していた。季節の変わり目には必ず渡り鳥が前触れとしてやって来る、鳥はまさしく神の使いであり、その止まり木が象徴化されたのが鳥居だと聞いたことがある。厄介なことにこの神の使いは「ホンコン型」「ソ連型」などの名前が示すとおりインフルエンザウイルスの運び屋でもある。

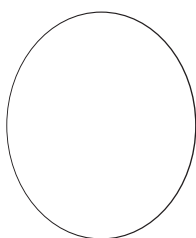
宮崎で猛威を振るった口蹄疫終息宣言から5日後の9月1日、新聞に不気味な記事が出ていた。人間に感染すると60%の人が死ぬ新型・鳥インフルエンザがインドネシアで出現したとの内容だ。今回の口蹄疫ウイルスが渡り鳥によるものとは考えにくいということだが、いずれにしても私たちの日常の水面下に“ウイルスとの戦い”があるのだ。

そして今回の口蹄疫で感じたもうひとつの情景は、家畜の過密な飼育環境がウイルス拡大の要因でもあったことだ。これは、我々人類の巨大都市への過度の集中に“神”が何らかの警鐘を鳴らされているのではあるまいか？

ところで、2期目の知事選出馬か？国政への転身か？注目される東国原知事の去就だがこの執筆時点では未定だ。口蹄疫禍からの復興再生の陣頭指揮を執る東国原知事。やがて猛暑も終わり、秋風がそよぎ、木枯らしが吹く季節へと向かう。風によって誕生した東国原知事、混沌とした政治状況の中で、どんな“風”に乗ろうとしているのだろうか。これまで3年半多難の県政リーダーとして稀有な能力をいかんなく発揮されてきた東国原知事への感謝を込めて、氏の乗る風の先は必ずや宮崎県民の幸せと繋がっていると信じたい。

## 国公立病院だより

### 美郷町国民健康保険西郷病院



ひがし よしまさ  
東 善昌 院長

前回、現金丸総院長が、本誌に当病院を紹介させていただいてから、1年が経とうとしている。この間、地域、医療機関、それを取り巻く環境にも大きな変化があったので紹介させていただく。

#### 美郷町とその医療

美郷町は、平成 18 年 1 月 1 日に、旧北郷村、西郷村、南郷村が合併する形で誕生した。今、それぞれは区として存在する。現在人口は約 6,700 人、高齢化率 40% 超の典型的中山間地の町である。以前から、それぞれの地域に 1 か所ずつ国保病院、診療所が存在し、医療を守ってきた。合併を契機により大きく変化したのが国保南郷病院である。以前は宮大、自治医科大学の協力により常勤医 2 名体制を保っていた。が、新医師卒後臨床研修医制度と相まって、常勤医の確保が困難となった。そこで、前町長、現金丸総院長、議会、役場そして住民との話し合いが幾度となく繰り返された。医療機関を廃止する訳にはいかないとのそれぞれの強い思いで下された結論は、雇用をある程度保ち、医療を提供できる有床診療所による診療継続であった。そのために医師募集をしたところ、旧南郷村出身の末永治先生に名のりを上げていただいた。しかしながら医師 1 人であり、到底 365 日、24 時間診療を行うことは不可能である。幸い今年からは西郷病院からはもちろんであるが日向市の千代田病院、宮大の地域医療学講座のご好意による医師派遣があり、日勤・当直の一部を担ってもらえるこ

ととなり感謝している。もちろん、この体制が正常であるはずもないし、いつまでも続く訳でもない。住民からの要望はあくまでも常勤医の確保である。しかしなかなか簡単にはいかない。住民の不安を取り除き、医療の現状を理解していただくため、現在も各地区での話し合いが現金丸総院長を始めとした美郷町地域包括医療局を中心に行われている。又、住民の不安は南郷区と西郷区との交通アクセスの不便な点にもある。山越えの狭い道を利用し 40 分程かかる。公共の交通機関もない。トンネル開通の計画もあるが、完成するのは何年も先になる。北郷区の医療は、平成 3 年より内科医師による公設民営の診療所が担ってきた。諸事情により昨年からは公設公営となり宮崎から整形外科医の前田幸徳先生が赴任され診療に当たられている。先生のご専門以外、慢性の内科疾患にも対処していただき、患者さん達にも大変喜ばれている。もちろん北郷で出来ない検査が必要、或いは、病状が不安定な患者さんは西郷病院を受診されている。が、前医師からの申し送りがスムーズであったことや、交通アクセスが良い(今年度からはコミュニティバスの運行で一層、西郷病院を利用し易くなった)点で、安心した医療が受けられる環境になっていると思われる。以上より、ますますの西郷病院自体のスタッフの充実が望まれる。今後は、先ほど述べた美郷町地域包括医療局の

管理下で、それぞれの医療機関の交流が図られ、患者さんへのサービスが向上すると思われる。

ここで西郷病院自体の推移について述べさせていただきます。

#### 西郷病院の変遷と現況

昭和 22年に国保の診療所として開設され、31年に病院に変更された。その後一部改築されたものの老朽化が進み、エレベーターがなく負担が大きいなどの理由で、平成 14年に、一部の既存構造を残し、ほぼ全面改築された。今までのサービスはそのまま、更なる患者さんの利益提供という観点から 2つの設備が加わった。1つは屋上のヘリポートである。滅多に使用することはないが、つい先日防災ヘリを利用させていただいた。2つ目は透析診療である。近隣の患者さんを受け入れている。現在 8床、平日の 3日間 2クールで対応している。安定期の患者さんのみであり、トラブル時には紹介元の病院にご迷惑をかけている。将来は、透析導入期の患者さんの受け入れも考えるが。その他にも、ヘリカル CT、上下内視鏡もあり、29床の小規模の病院とすれば設備にも恵まれ、診療がやりやすい環境ではないかと思う。現在常勤医 4名で診療にあたっている。内科 3名、整形外科 1名である。それぞれは総合診療医としても患者さんへ対応している。平成 18年からは入郷地区のへき地医療支援拠点病院に指定された。他医療機関への支援も度々あり、更なる医師確保が早急に必要となっている。新医師卒後臨床研修医制度が発足した翌年から、金丸総院長の人望、人脈により年間 6～7名の 2年目の研修医を受け入れている。皆とても熱心で戦力となってくれる。研修が終わった後は、地域医療に興味があ

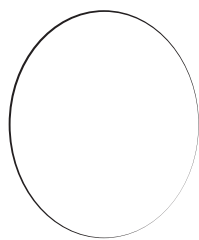
いた、また一緒に働きたいとの気持ちを持たれる様である。できれば、何年か後でも本当に戻って来て、一緒に仕事が出来ればと思う。その他にも、クリクラ、へき地医療ガイダンス、地域医療実習などで、学生も受け入れている。学生の頃から、地域医療に興味を持っていただけることは幸いである。研修医になってから戻って来られることを望んでいる。

#### 最後に

自分自身のことについて述べたい。自身は宮医大の放射線科に所属していた。縁あって医局から平成 6年 6月に西郷病院へ派遣された。その少し前挨拶のため日向駅から医局長と共に病院へ向かった。回りの風景は山ばかり。どこの山奥だろうかと不安であった。川沿いの国道を少し外れ市街地に入り、病院に着いた時は、ホッとしたことを思い出す。着任してからは、外来経験もほとんどなく、地域医療も全く未経験であった検査医としては不安だらけの日々を過ごした。研鑽(?)を積みながら、検査の他に徐々に外来をさせていただいた。が、患者さんにとっては傍迷惑な話であつたろう。そのうち診療にも慣れ、地域の雰囲気にも溶け込んで行くことができた。スタッフの対応、能力も高く病院、地域が自分に合っていると感じられ、平成 9年に両親や妻に相談もせず退局し、常勤医として留まった。医師、一般住民として、患者さん、その家族、地域の方々との濃密な関係は都市部の病院では味わえないと思う。医療の原点がまだまだ残されている。興味のある方は、一度訪問してみませんか。お待ちしております。

(東 善昌)

## 宮崎大学医学部だより

感 染 症 学 講 座  
- 微生物学分野 -はやし てつや  
林 哲也 教授

2000年に南嶋前教授の後任として旧宮崎医科大学微生物学講座に林哲也が赴任してから、既に10年が経過した。この間、フロンティア科学実験総合センター(FSRC)の設置や大学の統合などがあり、本講座の学

内での位置づけや構成メンバーの正式所属部局等も大きく変化した。センター設置と大学統合に伴う講座の変遷については2007年の本欄で紹介したので、詳細については割愛するが、林哲也と小椋義俊助教はFSRC・生命科学研究部門・生命環境科学分野の所属で、医学部感染症学講座微生物学部門を兼任し、中山恵介と大岡唯祐は医学部感染症学講座微生物学部門の助教という形になっている。実際には、この4名で医学部での講義・実習やその他の業務を担当しているため、実質的には旧微生物学講座の枠組みに変化はない。なお、昨年10月より、副学長に就任された中山前センター長の後任として、林がFSRCのセンター長を務めることになった。

講座構成メンバーに関しては、ポストドクや大学院生、技能補佐員の交代等があり、少しずつ変化している。現在の構成は、上記の教員の他に、ポストドク2名、博士課程大学院生3名、技能補佐員4名、および事務職員1名である。特に事務職員の藤井伸子は、講座の事務関係や学会開催等の一切を切り盛りしてくれており、本講座にとって無くてはならない存在となっている。また、FSRC微生物学ラボには吉田朱美技術職員が在籍し、ラボ長である林とともに同ラボの管理を行っている。なお、以前に助教授を務めていた大西真が、本年4月に国立感染症研究所細菌感染第1部の部長に昇任したことは、我々の講座にとっても大きなニュースであった。

研究面では、ゲノム解析を基盤とした病原細菌の研究を継続しており、2007年に病原性大腸

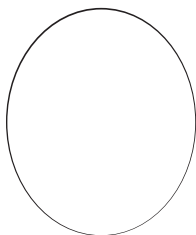
菌O157の全ゲノム解読に成功した後も、O157のポストゲノム研究に加え、本講座独自あるいは他大学と共同で、他の病原性大腸菌、ツツガムシ病リケッチア、歯周病病原菌、アエロモナスなどのゲノム解析や、ヒト腸内細菌叢のゲノム解析を進めてきた。病原細菌のゲノム研究では我が国の中心的なラボの1つとして認知され、海外の研究グループとも活発に共同研究を展開している。最近の成果としては、O157と同様の病原性を示す3株の病原性大腸菌(腸管出血性大腸菌O26, O111, O103)のゲノム解読やO157の研究成果を応用したO157菌株迅速識別システムの開発などが挙げられる。O157菌株迅速識別システムについては、TOYOBOから既に発売されており、各地の地方衛生研究所等での使用が始まっている。また、本年度から新たに開始された新学術領域研究「ゲノム支援」において、我々の部門は病原微生物解析支援拠点に選定され、今後5年間は、学長裁量経費等の資金でFSRCに設置していただいた新型シーケンサー等の機器をフルに活用して、我が国における病原微生物のゲノム研究を支援・牽引する立場となっている。

最近の新聞報道等にみられるように、感染症あるいは微生物研究は、様々な新興・再興感染症の出現や多剤耐性菌の増加という大きな課題を抱えており、その重要性がますます強く認識されるようになってきている。学部等における感染症教育の重要性も以前にも増して高くなっており、学生が病原体や感染症に関する興味と十分な知識を備えた医師として現場に飛び出していけるように努めることは我々の大きな責務である。この点において、本年度4月から、全国で初めてとなる大学院・医学獣医学総合研究科が設置されたことは、特に人獣共通感染症に関する教育研究体制の強化という点で重要である。ICT活動への参加やコンサルテーションや共同研究などの形で、臨床や地域の医療と密接に結びついた活動を行うことも、我々の重要な使命の一つであり、今後も多くの臨床医の方々と密接なコミュニケーションをとりながら、感染症に関連した様々な問題に取り組んでいきたいと考えている。

(林 哲也)

## 部会だより

## 労 災 部 会

こまき いちまる  
小牧 一磨 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和 39年 5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉及び労災補償の円滑な運用に寄与することを目的に活動を行っています。

現在会員は 427名で労災指定医療機関数は 593 です。

当部会は県医師会員であり労働者災害補償保険法に基づく労災指定医療機関の代表をもって構成されています。労災保険は業務上又は通勤における労働者の負傷、疾病、障害、死亡に対して労働者やその遺族のために、必要な保険給付を行う制度です。公的保険と異なり労働者の早期社会復帰を促進することを基本に幅広い給付を可能にしています。

## 【労災部会の事業】

- ・宮崎労働基準局並びに労働基準監督署と会員の間の事務的連絡協調に関する事項
- ・労災労働医学の研究調査並びに講習に関する事項
- ・労災診療内容向上に関する事項（療養補償費請求に関する事項）
- ・労働基準法並びに災害補償保険法の研究調査並びに衛生労務管理、指導に関する事項
- ・その他の目的達成に必要な事項

## 【合同学会（県外科医会・県整形外科医会と合同開催）】

例年 5月頃開催。過去 3年間の演題と講師は以下の通りです。

平成 22年度

演題：「腰痛疾患の診療」

講師：財団法人弘潤会野崎東病院整形外科  
副院長 久保紳一郎 先生

平成 21年度

演題：「手の外傷の治療」

講師：医療法人幸仁会飯田病院副院長  
（飯田整形外科クリニック院長）  
飯田博幸 先生

平成 20年度

演題：「外傷・障害の予防」

～スポーツ活動におけるコンディショニングの重要性～

講師：鹿屋体育大学保健管理センター教授・  
センター長 藤井康成 先生

## 【労災診療指導委員会】

労災診療費請求書の審査を毎月 1 回行っていますので問題がありましたら当委員会へご連絡下さい。

## 【労災診療費算定実務研修会】

労災指定医療機関等が、労災診療費を請求する際に生じやすい「請求洩れ」や「請求誤り」の解消を目的に、労災保険情報センター（R IC）と協力して県北・県央・県西の 3 地区で開催しています。平成 22年度は 184医療機関 243名の参加がありました。当研修会は内容が医療機関に役立つ研修会ですので、是非ご参加下さい。

## 【自賠償関係】

自賠償委員会と宮崎県損害保険医療協議会（県医師会、損害保険同業会、損害保険調査事務所）とにおいて交通事故に係る治療補償等のトラブルを協議して円満に解決を図る委員会です。御希望の方は県医師会、自賠償委員会へお問い合わせ下さい。

尚、毎年 1 回自賠償の研修会を行っていますので自賠償をしておられる病医院は係りの事務員の方は参加されると役立つと思います。

最後になりますが、労災被災労働者や交通外傷の患者さんへのより良い医療提供を基本理念として、職場への早期復帰及び災害補償等に関する先生方のご協力、ご指導を賜りますことをお願い申し上げて、県労災部会の紹介とさせていただきます。（小牧 一磨）

## 「新春随想」原稿募集

平成 23 年 1, 2 月号に恒例になりました「新春随想」欄を企画いたしております。  
この欄は大変好評ですので、奮ってご投稿をお願い致します。

題 材 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句等なんでも結構です。  
本文に関連した写真・イラスト等( 1 枚のみ, カラー印刷はできません )  
も掲載できます。

字 数 80 字以内( 字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことがあ  
りますのでご承知ください )

締 切 平成 22 年 12 月 10 日(金)

宛 先 宮崎県医師会広報委員会

原稿には「新春随想」と明記してください。

ご投稿の原稿が他紙に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせくだ  
さい。

掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として, 原稿はお返しいたしません。返戻を希望される方はその旨  
ご指示下さい。

日州医事は, 会員以外( マスコミ・行政・図書館 )等にも配付しています。

原稿は, FAX, 電子媒体にても受け付けております。テキス  
ト形式で保存し, ディスクまたはメールにて下記へお届けくだ  
さい。( タイトル, ご氏名を先頭に付記してください )

宛先: 宮崎県医師会広報委員会

新春随想係

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

TEL 0985 - 22 - 5118 FAX 0985 - 27 - 6550

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

## — 各 種 委 員 会 —

## 医 療 保 険 委 員 会

と き 平成 22年 8月 13日(金)

ところ 県医師会館

稲倉会長の挨拶に引き続き、上田担当理事から、委員会規程第 7 条により委員長が栗林忠信先生、副委員長に豊田清一先生が委嘱されていることが報告され、稲倉会長から委員長に次の 4 つの諮問事項が手渡された。

- ・平成 22年度診療報酬改定の問題点とその対応について
- ・平成 24年度診療報酬(および介護報酬)同時改定に対する要望について
- ・「宮崎県医師会保険診療の手引き」の作成について
- ・指導・監査(指導大綱)の問題点について

協 議

1. 平成 22年度診療報酬改定の問題点とその対応について

上田理事から日医レセプト調査(平成 22年 4～6 月)の結果概要を基に医療機関への影響等の説明が行われ、各郡市医師会や各専門分科医会で今後、問題点が出てきた場合には、県医師会へ報告してもらうこととなった。

2. 平成 24年度診療報酬(および介護報酬)同時改定に対する要望について

上田理事から、秋口から年末にかけて、各郡市医師会、各専門分科医会を通じて要望書を九医連、日医等に提出していくことになるので、その際はご協力をお願いしたいと説明及び協力依頼が行われ承認された。

3. 「宮崎県医師会保険診療の手引き」の作成について

前回同様、小委員会(両審査委員会委員長及

び副委員長並びに県医師会役員)及び社保・国保審査委員会を中心にご協力を仰ぎ、11月末を目標に手引きを作成することが承認された。

4. 指導・監査(指導大綱)の問題点について

日医より、指導等の見直しについて意見を求められており、各委員より挙げられた問題点をまとめたものを日医に提出することが承認された。また、稲倉会長より、厚労省「医療コンテスト」に提出された向本時夫指導管理官の提案内容について報告があり、各委員から厳しい批判の意見が出された。

出席者 - 栗林委員長、豊田副委員長、山村・吉松・和田・北村・瀬戸口・松岡・先成・白尾・岡田・成田・木宮・嶋本・出水・安達・谷口・橋口・福田委員  
(県医) 稲倉会長、河野・富田副会長、立元・濱田常任理事、上田理事、竹崎課長、牧野主事

## 介 護 保 険 委 員 会

と き 平成 22年 8月 23日(月)

ところ 県医師会館

会長より「介護保険制度が始まって10年余り、いろいろなところでほころびが出てきている。再来年の同時改定時には我々の要求が通るように勉強したい」と挨拶があった。

1. 主治医研修会について

来年 1 月から 3 月までに、テレビ会議システムを使い開催する。講師は認定審査会委員にお願いし、認知症、脳卒中、整形外科疾患について「こういうことを書いたら意見書の重要性が増す。こういうことは落とさず書いて

いただきたい」というような主治医意見書記載のポイントをまとめた研修会とする。

## 2. 認知症地域医療支援事業について

3 年間の県からの委託事業最終年である。今年度は認知症サポート医を 6 名養成し、その認知症サポート医が講師となり、来年 1 月以降宮崎、延岡、日南で「かかりつけ医認知症対応力向上研修」を開催する。また、同研修会を修了した医師が勤務する医療機関を掲載したパンフレットを作成する。

## 3. 特養入居者にかかる医療行為について

6 月に、県が特養嘱託医に、施設での医療行為を制限するように受け取れる文書を通じた。県医師会では県から説明を聞き「同文書は点滴などの医療行為を制限する目的ではない。一部で医師の対応が十分確認できない例が散見されたため、再確認と周知徹底の意味

で本通知を発出したものである」と嘱託医へ通知した。

## 4. 会員に介護保険に興味を持ってもらうための方策について

意見交換をした。委員からは「介護保険に時間を割いても報酬がない、または不十分であることが興味を持たない原因」「参入していただくには、具体的な参入方法を提示し収入の試算をするなど相当踏み込まなければならない」というような意見が上がった。

出席者 - 牛谷委員長、山路副委員長、宮本・三股・山口・松本・川越・鳥取部・谷口・中島委員

(県医) 稲倉会長、河野副会長、立元・石川常任理事、矢野理事、小川課長、久永課長補佐

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館 1 階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の 2 週間前までに県医師会までご連絡ください。



お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 富高・小川

## — 各 種 委 員 会 —

## 第 1 回公益法人化検討委員会

と き 平成 22年 8 月 1日(火)

ところ 県医師会館

テレビ会議：延岡・日向・西諸

立元常任理事の開会，稲倉会長の挨拶の後，委員長に川名隆司先生，副委員長に山元敏嗣先生が委嘱された。

続いて，稲倉会長から川名委員長へ以下の諮問が行われた。

## 諮問事項

「新公益法人制度改革に伴う宮崎県医師会の法人移行の方針決定と定款（案）の検討」

1．公益法人制度改革について，公益認定を受けずに一般社団法人にとどまるか，公益認定を受け公益社団法人になるかを検討すること（ただ経理的要件を満たすか否かの議論のみならず，医師会の将来ビジョンを見据えた上で検討すること）

2．方向性が決まったら，定款（案）の検討を行うこと

今回は各委員を始め各都市の会長，事務局職員も同席の上，竹之内先生の講演が主になることから，川名委員長に代わり，立元常任理事により進行され，これまでの経過報告の後，県医師会顧問公認会計士の竹之内敏伸先生の講演が行われた。

「公益社団法人又は一般社団法人への移行時における留意事項」

1）公益社団法人へ行くべきか，一般社団法人へ行くべきか

医師会の個々の状況を伺うと様々であり，基本的には事業内容や将来の法人のあるべき

姿を厳しく検討することが大事である。そして，その検討結果を踏まえてどちらに移行すべきかを判断すべきであり，公益法人に移行する特別な理由がなければ無理をして公益認定を受ける必要はない。

公益社団法人に移行した後のリスクとしてよく言われるのが，認定取り消しになった場合，公益目的取得財産残額を他の法人に寄付する必要があるということである。寄付した後に事業が継続出来るのか，支障なく一般に移行できるのか等のリスクがあるので公益に行くのを躊躇するという話も聞く。

一般社団法人に移行する場合の問題点は，認可を受けて登記した前日の総資産から負債を控除した公益目的財産残額を，公益目的支出計画に沿って一定期間内で零にしなくてはならないことである。これは赤字が見込まれる実施事業等で公益目的財産残額を零にするということであり，よく誤解されるのは，公益目的財産残額の金額を現金で外部に放出しなくてはいけないと考えることである。そうではなく，公益目的財産残額の金額をまず確定し，その金額を実施事業の赤字の金額で消去していくということである。実施事業以外の収益事業で黒字を計上し，結果として法人内部に資金が貯まっていくということも実際上は起こりうることである。認可を受けた時点で残っている財産を全部使ってしまう必要があるという意味ではなく，公益目的支出計

画が終わったら法人内部には財産が全く無くなるということではない。また、資産から負債を引いた純資産額が零であれば、公益目的支出計画を作成する必要もない。金額が少なければ特定寄付という形で寄付してしまえば簡単に済むということもある。認可を受ける前に公益目的財産残額を知り、公益目的支出計画の案を検討するには、平成 20 年基準で財務諸表を作成できるのがベストであるが、できなければ平成 16 年改正基準で適正な財務諸表を作成した後で検討する必要がある。

将来、会館建築をする場合、一般に行った場合は実施事業に係わるものに対して会館を建てれば減価償却費が増えていくので、より速く支出計画が終わるということになる。公益に行った場合には、当然公益目的事業に係わる会館を建築すると思われるので、公益目的事業比率とか収支相償においても有利に働くということになる。遊休財産については、遊休財産を比較する公益目的事業費の中に減価償却費が計上されるので、基準額が膨らみ、相対的に遊休財産の額が小さくなるので有利となる。会館建築については公益に行った方がより直接的に有利に働くことになる。

税金の問題については、公益認定を受けた場合は公益目的事業と認定された事業について非課税となり、収益事業のみの課税となる。また、税法上一般社团は、営利型と非営利型に区分されるが、非営利型に行った場合は今までどおりの収益事業に対してのみ課税されるので今と同じである。ただ、特例民法法人には認められていたみなし寄附金の特例はなくなる。また営利型に行った場合は、普通の株式会社と同じで全所得課税となり収入全てが課税となる。医師会で営利型法人に行く場合はないであろうと思うので、税金に関しては今とほぼ同じである。公益認定を受けると

公益事業に係わる固定資産に対する固定資産税が非課税になるので、こちらの方の影響が大きいのかもしれない。

しかし、税金云々を考える前に一番重要なことは医師会の事業を見直して、公益に行くメリットがあるのかを検討しなくてはならない。単に税金がどうこうというのではなく、本質的には医師会の行う事業を今後どう展開していくのか、その事業内容をはっきりさせて判断すべきであり、自分の事業を見つめ直すことが今回の公益法人改革の主な目的と言える。

## 2) 申請及び申請書作成について

公益認定のための審査というのは基本的には過去の実績は問わない。今後どうするのかという事業活動を見る。平成 20 年基準は、公益目的事業会計、収益事業等会計及び法人会計に分けて決算を行うものである以上、その前提として事業区分が必要となる。しかし、この事業区分が出来ていないのが多くの法人の現状であるので、少なくとも平成 16 年改正基準で正しく決算書を作り、決算書とは別に公益目的事業を確定し、申請書の事業概要を書くことができれば、80% くらいは申請書類が作れるということになる。

基本財産というのは遊休財産であるのかという質問があるが、一切関係ない。認定法上、基本財産になるのは不可欠特定財産だけとなっている。公益社団法人に移行するのであるなら、今ある基本財産を基本財産として保持するかどうかは法人で決められるし、取り崩すのであれば、取り崩す最後のチャンスであるといえる。ただ定款で基本財産と一旦決めた以上は、今までどおり維持管理が必要となるので、基本財産をどうするかについては慎重に検討してもらいたい。

認定申請を行う場合のステップとしては、

決算書を最低限、平成 16年改正基準で作れるようになること、申請書類の「法人の事業について」が書けるようになるまで、公益目的事業を整理することである。その他に大事なことは財務三表と言われる書類である。収支相償は簡単に言えば、公益目的事業の経常収入から経常費用を引いた金額がマイナス又は収支トントンになればよい。プラスになれば特定費用準備資金を積み立てる。なお、余った将来期に公益目的保有財産を買うというようなことで説明がつけばよい。公益目的事業比率は、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の経常費用合計額に対し公益目的事業会計の経常費用の額が 50%を超えればよい。遊休財産は、簡単に言えば、遊休財産の基準額となる公益目的事業の経常費用と純資産額を比較して、経常費用の金額に収まっていればよい。

一般社団に行く場合、整備法第 119条で、公益目的支出計画等を作成するガイドラインというのが出ているので、一般に移行するところはよく読んでもらいたい。この公益目的支出計画を作成するガイドラインの主な留意事項は、公益目的支出計画の適正性と確実性である。

### 3) 役員の選任方法

定款の案を作る段階になると、分かっているつもりでも混乱してくる。何故かという、既存の機関と新法における機関をはっきり理解していないからだと思う。既存の機関として社員、社員総会、理事、監事があり、新法における機関が理事会、代表理事、業務執行理事、評議員、評議員会である。特例民法法人の現在ある定款、寄付行為の中に理事会や代表理事、理事長等が機関として現に存在している場合がある。現に存在してもそれは法律上の機関ではない。それに対し、社員、理

事、監事は民法に定めのある法律上の機関であり、定款等の変更前でも新法上の機関である。その違いを理解しないといけない。理事会、代表理事、評議員等は特例民法法人である間は法律上存在しない。認定を受けて登記をしたその日から有効になる機関であって、今は同じ名前を使っている、それは新法上の機関ではないということをはっきり分けてもらえれば理解できるのではと思う。また、理事、監事は現在も新法上の機関であるが任期に対する規定が異なるので注意が必要だ。

### 4) 申請状況及び認定を受けた後に問題になっていること

7月現在で、申請件数が 1,000件である。これは特例民法法人の約 4%である。このペースでいくと、これから先 1 か月に 500件以上の申請が出てこないと間に合わない。今までは 1 か月 17件が最多の件数である。医師会のような全国組織の法人がかなりあるが、認定等委員会も全国組織として存在する団体のうち、一つの団体が認定、認可を受ければ、その申請提出書類をもとに勉強会を開いたらどうかと言っている。その勉強会については認定等委員会も積極的に出て行くと言っている。全国組織の中の一つの法人が認定・認可を受けると、その業種の法人の申請は一気に進む可能性がある。

申請を急ぐあまりに、マニュアルどおりのものを作ってしまうと、大きな支障をきたしている例がある。理事会、評議員の開催の定めとして、法定では 3 か月に 1 回以上とか 4 か月を超える期間に 2 回以上というのがあるが、年 4 回開催としたため現実的には開催が不可能となる事態が発生している。また、評議員会を開催しなくてはならないが、理事会の決議を経ずに、評議員会を開催しようとしたとか、決算に関する評議員会は決算理事会

から 2 週間以上の間隔をあけて通知をして評議員に集まってもらわないといけないが、それを無視してしまったとか、理事会と評議員会は必ず本人が出席しないといけないが、その過半数の出席の確保ができないような人数を選んでしまって定足数が足りないとかいうことも起こっている。自分のところにあった機関を慎重に選び、必ず出席して意見を述べてくれる人を選ぶとか、色々ガバナンスの問題を検討する必要がある。

講演終了後、活発な質疑応答が行われ、今後のスケジュールの確認後、閉会した。

出席者

委員会 - 川名委員長，山元副委員長，鯨島・青柳・内村委員

各都市医師会 - 牧野(延岡)・渡邊(日向)・児玉(西都)・檜(西諸)会長，植松(西臼杵)副会長，溝口(延岡)・家村(日向)担当理事

(県医) 稲倉会長，富田副会長，立元・佐藤・吉田常任理事，大重事務局長，児玉次長，榎本・竹崎課長，小川課長補佐

## お知らせ

### 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

お申し込みは 10 月 16 日(土)までに総務課へご連絡ください。

と き 平成 22 年 11 月 3 日(水)・文化の日)

8 : 20~

ところ ハイビスカスゴルフクラブ

宮崎市佐土原町下田島 21085-1

申し込み先 宮崎県医師会 総務課

TEL 0985-22-5118

## 第 11回宮崎県医師会医家芸術展

理事 高橋政見

今回で第 11回を迎えました医家芸術展は 8 月 25日(水)から 29日(日)まで県立美術館県民ギャラリーにて開催されました。今回から出展方法を変更したため皆様大変ご迷惑をおかけしましたが、45名の医師会員及びご家族の方々より書道・写真・絵画の 3 部門に 101点の応募をいただきました。出展者の方々に厚く御礼申し上げます。

また猛暑の中にも拘らず入場者は 5 日間で 1,100 人を超えました。毎年の行事として定着していることが窺え、スタッフ一同喜んでおります。

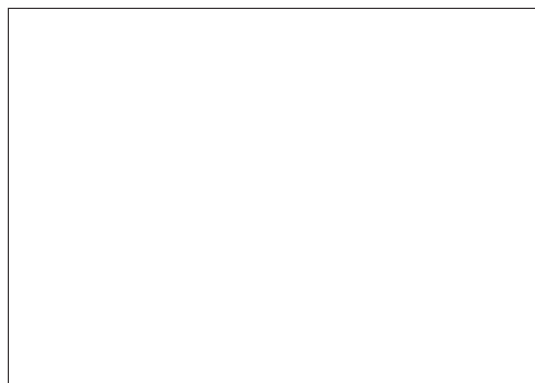
開催期間中の入場者数

25日(水) 150人, 26日(木) 200人, 27日(金) 180人  
28日(土) 354人, 29日(日) 218人

5 日間 計 1,102人

来場者の方々より「すばらしい作品に感動した」との感想を多数いただきましたので、一部で紹介いたします。

- 毎年素晴らしい作品を見せて下さり、感謝申し上げます。先生方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。
- 色鮮やかで何回見ても飽きないくらいでした。迫力が満点でした。また来たいです。

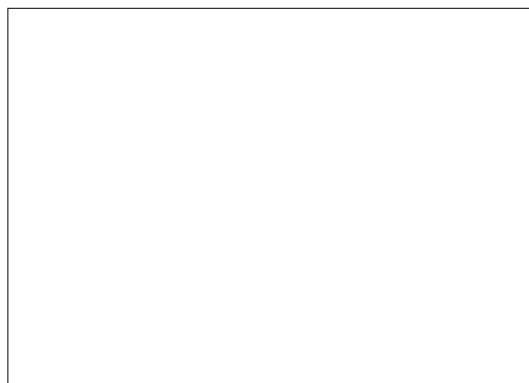


- 色々な写真, 絵, 書道の全部がすごかったです。とてもきれいでした。
- 素晴らしい作品を見せていただき、私の方が元気をいただきました。
- 精魂溢れる作品の完成を拝見させていただきました。ご無理なきよう一層のご努力をお祈りいたします。
- 遠方までは見に行けないので、よいチャンスでした。素晴らしいと思いました。

今回も世話人として藤木浩先生( 絵画 ), 押川紘一郎先生( 写真 ), 弓削三重子様( 書道 )に多大なご尽力をいただきました。深く感謝申し上げます。なお、作品の一部は作者のお許しを得て、日州医事の表紙を飾ることになっています。

来年の医家芸術展は、会場の都合により開催時期を例年より早めて 7 月 6 日(水) ~ 10日(日)に県立美術館で開催いたします。会員の皆様の作品をお待ちいたしております。

今年は口蹄疫の影響で一時は開催が危ぶまれていましたが、無事終えることができてほっといたしました。皆様の声を励みに今後ますますこの芸術展が発展していくことを念じております。



## 初期医師臨床研修 / 修了後専門研修説明会 in みやざき

(第 1 回)と き 平成 22 年 6 月 19 日(土)

ところ 宮崎大学医学部附属病院

(第 2 回)と き 平成 22 年 8 月 14 日(土)

ところ 宮崎観光ホテル

県臨床研修運営協議会主催により病院説明会および懇談会を 2 回開催した。

第 1 回目は、宮崎大学医学部学生を対象として 6 月 19 日(土)に宮崎大学医学部附属病院で開催した。古賀委員の司会により開会、稲倉協議会長挨拶、宮崎県医療薬務課緒方課長より県からのお願いの後、宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センターの小松委員よりマッチングスケジュールの説明、各基幹型臨床研修病院による研修プログラムのプレゼンテーション、その後、基幹型および協力型臨床研修病院の各ブースでの個別説明会が行われ、参加施設は計 19 施設で、62 名の学生( 6 年生 5 名, 5 年生 5 名 )が参加した。

第 2 回目は、県内外の医学部学生・研修医等を対象として 8 月 14 日(土)に宮崎観光ホテルで開催した。古賀委員の司会により開会、稲倉協議会長および岡山協議会副会長挨拶の後、各基幹型臨床研修病院および希望する協力型臨床研修病院等による研修プログラムのプレゼンテーション、その後、基幹型および協力型臨床研修病院等の各ブースでの個別説明会が行われ、参加施設は計 2 施設で、4 名の学生( 3 名; 県内 5 年生 6 名, 6 年生 2 名, 県外 1 年生 1 名, 3 年生 1 名, 4 年生 4 名, 5 年生 1 名, 6 年生 6 名 )・研修医( 9 名; 県内 8 名, 県外 1 名 )・家族 1 名; 研修医の父親 )が参加した。

いずれも説明会終了後に懇談会を開催し、先輩医師・参加施設関係者との意見交換会が行われた。

### 参加施設

宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、古賀総合病院、宮崎

生協病院、宮崎善仁会病院、野崎東病院、国立病院機構都城病院、藤元早鈴病院、メディカルシティ東部病院、美郷町国民健康保険西郷病院、千代田病院、高千穂町国民健康保険病院、内村病院、園田病院( 以上 1, 2 回目参加 ), 都城市郡医師会病院、五ヶ瀬町国民健康保険病院( 以上 1 回目のみ参加 ), 国立病院機構宮崎東病院、宮崎市郡医師会病院、潤和会記念病院、プレストピアなんば病院、串間市民病院、きよひで内科クリニック、ドクターバンク無料職業紹介所 宮崎県医師協同組合( 以上 2 回目のみ参加 )

## 第 21回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会

と き 平成 22年 7月 2日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

本年度医師国家試験に合格し、本県で初めて臨床研修を行う医師 42名(医科 37名, 歯科 5名)を対象として保険診療等説明会並びに祝賀会を開催した。

説明会は、立元常任理事の司会により開会し、冒頭で東国原知事より激励の言葉を頂戴した。知事の退席後、富田副会長から「保険診療」、濱田常任理事から「医事紛争」、大塚常任理事から「県医師会への入会案内」、古賀常任理事から「宮崎県臨床研修運営協議会」について、それぞれ説明を行った。

祝賀会は、宮崎大学から菅沼学長・迫田医学

部長・池ノ上病院長・教授・医局長・卒後臨床研修センター委員・教育指導者連絡会及び県内の基幹型・協力型臨床研修病院の関係各位並びに本会役員が出席した。

立元常任理事の司会により開会。稲倉会長が主催者挨拶を行い、菅沼学長から研修医への激励の言葉を頂戴した。次いで研修医を代表して山田優里先生がお礼の言葉を述べた。続いて迫田医学部長が乾杯の発声。宴の席上では、新研修医の自己紹介が行われ盛会の裡に終了した。

なお、本会から各研修医には記念の印鑑を贈呈した。

### 平成 22年度新研修医

宮崎大学医学部			県立宮崎病院		古賀総合病院
石井信之	佐藤智代	森田雄大	北谷圭治	都丸俊介	
井手慎介	鈴木翔	山田優里	林哲也	鈴木成治	
上原なつみ	谷口晶俊	湯地英章	平良彰浩	宮崎生協病院	
後迫宏紀	長嶺佳弘	明野慶子	天神林友梨	眞川昌大	
漆間雅人	永山倫子	松澤聡史	鈴木聡一	黒木直美	
大塚記史	深尾理	奥村圭佑	黒木大介		
尾崎紗綾	増田いしえ	亀井洋志	富田真晴		
飯屋暢人	皆川明大	大道寺尚	中西泰之		
小西紗織	村嶋隆哉	温水佳世子			
酒井理歌	森下祐介	原田泰成			

## 第 1 回各都市医師会長協議会

と き 平成 27 年 8 月 3 日(火)

ところ 県医師会館

立元常任理事の司会により開会、稲倉会長の挨拶の後、報告及び協議に入った。

### 報告及び協議

#### 1. 7/20(火) 日医 都道府県医師会長協議会について

稲倉会長から、来年 4 月 2 日～10 日( 展覧会含む )に開催される第 28 回日本医学会総会について、会頭の矢崎義雄先生、準備委員長の永井良三先生から、積極的なご参加をお願いするとの挨拶があったとの説明があり、各都道府県医師会から提出された 12 議題の要点が報告された。

日本医師会役員選挙における会長選出方法について( 徳島県 )

医療ツーリズムと特区構想について( 兵庫県 )

死因究明制度の進捗状況について( 石川県 )

今シーズンのインフルエンザ対策について( 静岡県 )

予防接種法の改正について( 京都府 )

事業仕分け評価による産業保健推進センター業務の見直しについて( 秋田県 )

個別指導、集団的個別指導等への対応について( 大阪府 )

個別指導における実施通知時期について( 岡山県 )

「がん患者リハビリテーション料」( 診療報酬点数 1 単位 200 点 )について( 北海道 )

⑩警察医会への日医の対応について( 福岡県 )

⑪無床診療所の代表を執行部に( 奈良県 )

⑫医療政策への日本医師会のかかわりについ

て( 埼玉県 )

( なお、内容等については、日医ニュース№ 1175 号( 2010 年 8 月 20 日 )掲載のため省略 )

#### 2. 8/20(金) 第 2 回各都市医師会長協議会の開催について

稲倉会長から、6 月 30 日をもって解散した互助会の清算還付金について、会員によってさまざまなケースがあることから、振込作業をする前にアンケートを実施し、希望があれば県医師会が、個々の調査に協力する等、先生方の意向を最優先に慎重に対応することとした。そのアンケート結果が 8 月 16 日以降明らかになってくるので、最終的なご意見をお伺いするため臨時の会長協議会を開催させていただきたいとの説明があった。

#### 3. 第 2 回参議院議員通常選挙の結果について

稲倉会長から、選挙の総括として、日本看護連盟・日本薬剤師連盟・日本歯科医師連盟の推薦候補者はいずれも当選している。日本医師会推薦並びに支援候補 3 名はいずれも落選。6 年前の西島参議院選挙の時は、25 万票を集票していたが、今回は 3 人集めても 1 万票しかなく、明らかに医師連盟の弱体化が進んでいる。また本日( 8 月 3 日 )、西島英利前参議院議員がお礼を兼ね来会した。3 年後、武見敬三前参議院議員が出馬しなければ、是非、再度国政を目指したいとの意向であり、8 月 24 日の日本医師連盟執行委員会の結果を受けて対応を検討していきたいとのことであったとの報告があった。

また、稲倉会長より、弱体化が進む医師連盟に対し、何か良い対応策はないものかと問題提起があり、日医連が資料を作成し、会員当たり 10名位重点的に現況を説明しお願いするといった方法等、しっかりした組織づくりが今後重要になってくるとまとめた。

#### 出席者

都市医師会 - 中村(宮崎)・牧野(延岡)・  
渡邊(日向)・永友(児湯)・  
児玉(西都)・山元(南那珂)・  
槇(西諸)・池ノ上(宮大医)会長

(県医) 稲倉会長、河野・富田副会長、立元・  
佐藤・吉田・大塚・濱田・古賀・石川・  
松本・荒木常任理事、高橋・上田・  
済陽・金丸・長倉・矢野・直井・  
峰松理事、大重事務局長、児玉次長、  
榎本・小川・杉田・竹崎課長、  
牧野主事、伊東国保課長、  
甲斐医協事務長

## お知らせ

### 平成 22年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い！

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内 3 教育機関に委託しております。

なお、求職のご相談につきましては、随時承りますので、直接各養成校担当者へご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者 16名 (女 16名)	就職希望者 17名 (男 2 名, 女 15名)	就職希望者 14名 (男 2 名, 女 12名)
連絡先: 0985-85-0146 宮崎市清武町加納 1415 担当: 佐土原 敦 谷口 和子	連絡先: 0985-86-2271 宮崎市田野町甲 1556-1 担当: 福元 進	連絡先: 0986-38-4811 都城市吉尾町 77-8 担当: 谷上 智子 中山さおり 原口桂一郎

## 各専門分科医会長会

と き 平成 22 年 9 月 6 日(月)

ところ 県医師会館

稲倉会長の挨拶に引き続き、立元常任理事の進行で進められた。

### 協 議

#### 1. 専門分科医会に対する事務の補助について

6 月 23 日に開催した県医医学会役員会で次のように提案している。

##### ○受託業務

会員名簿の整理(作成・修正)、会議等運営(通知・資料作成・会場設営・立会)、簡単な会報等作成(編集・印刷・送付)

##### ○費用負担

基本金額 年額 12 万円

会員数加算 0 ～ 15 万円

( 100 人未満：0 円，  
150 人未満：3 万円，  
200 人未満：6 万円，  
250 人未満：9 万円，  
300 人未満：12 万円，  
300 人以上：15 万円 )

○予想以上に医師会へ事務負担が集中する場合には、随時負担のあり方等を相談の上見直す。

各専門分科医会の結論を伺ったところ、以下のような意見であった。

県医へ依頼する：内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科医会

現時点では県医へ依頼しない：皮膚科・泌尿器科・精神科・放射線科・東洋・透析医会

今後、業務の詳細等の確認を含め、平成 23 年 3 月の代議員会に提案(予算化)すべく調整していくこととなった。

出席者 - 栗林(内科)・田中(外科)・成田(皮膚科)・

中山(泌尿器科)・濱田(産婦人科)・

柴田(眼科)・吉田(精神科)・

田村(放射線科)・藤元(透析)会長、

先成(小児科)・平川(整形外科)・

安達(耳鼻咽喉科)・

川越(東洋医会)会長代理

( 県医 ) 稲倉会長、河野副会長、立元常任理事、大重事務局長、児玉次長、竹崎課長、牧野主事

## 県糖尿病対策推進会議幹事会

と き 平成 22年 9月 10日(金)

ところ 県医師会館

稲倉会長より「急増する糖尿病の克服のため、11月 14日を世界糖尿病デーとし、各地でさまざまなイベントが開催されている。宮崎県においても宮崎県医師会、日本糖尿病学会九州支部、日本糖尿病協会宮崎支部が設立したこの会議が中心となり、各種行事を開催して、糖尿病の発症予防、合併症予防等の糖尿病対策を推進していきたい」と挨拶があった。

長倉理事の司会進行により議事に移った。

### 1．平成 22年度事業報告

世界糖尿病デー( 11月 14日 )に合わせ、昨年度は、県庁のブルーライトアップ、市民公開講座、山形屋四季通りでの糖尿病無料検診・健康相談を行った。また、医師向けに糖尿病診療のための地区別小講習会を、西諸地区、南那珂地区で開催した。

### 2．平成 22年度事業について

世界糖尿病デーにあわせて次のような企画を行うこととした。

- ・市民公開講座 - 11月 13日(土)に JA A Z M ホールで「家族で考える生活習慣」をテーマに開催する。中華料理人の陳健一氏、宮崎大学安全衛生保健センター江藤准教授を講師に迎え講演をいただく。キャラクターショーやミニコンサートも行い、家族連れで楽しめる企画とする。
- ・ブルーライトアップ - 11月 8日(月)～ 14日(日)に県庁本館を糖尿病啓発のシンボルカラーである青色にライトアップする。11月 13日

(土)には点灯式やコンサートを開催する。

- ・糖尿病無料検診・相談 - 11月 7日(日)に山形屋四季ふれあいモールにて、歯科医師会、薬剤師会の協力も得ながら医療相談を行う。

出席者 - 稲倉( 県医師会 )会長、

栗林( 日本糖尿病学会九州支部 )・

長田( 日本糖尿病協会宮崎支部 )副会長、

中村( 日本糖尿病学会九州支部 )・

年森( 日本糖尿病学会九州支部 )・

中山( 県泌尿器科医会 )・

田代( 県薬剤師会 )・

境( 県看護協会 )・

川端( 日本健康運動指導士会宮崎県支部 )・

和田( 県健康増進課 )・

三好( 宮崎日日新聞社 )・

中津留( 宮崎糖尿病懇話会 )・

水田( 宮崎大学医学部 )・

長倉( 県医師会 )幹事、

佐野( 県歯科医師会 )幹事代理、

小川課長、久永課長補佐

## 九州医師会連合会第 312 回常任委員会

と き 平成 22 年 8 月 7 日(土)

ところ 城山観光ホテル( 鹿児島市 )

### 1 . 挨 拶

九州医師会連合会長 池田琢哉鹿児島県医師会長

### 2 . 報 告

1 ) 第 313 回常任委員会並びに第 1 回各種協議会( 9 月 25 日(土)鹿児島市 )

### 3 . 協 議

1 ) 九州厚生局への要望：医療機関に対する個別指導の選定理由を事前に通知することについて( 長崎 )

日本医師会に次の 3 点について調査を依頼することとなった。

選定委員会に医師会から参画できないか  
大阪府と近畿厚生局の状況

情報提供と高点数との割合の前年度と今年  
の比較調査

2 ) 九州医師会連合会災害見舞金( 義援金 )に関する申し合わせ( 案 )( 鹿児島 )

稲倉会長から先の口蹄疫に対する義援金  
についての謝辞の後、原案通り承認された。

3 ) 第 123 回日本医師会臨時代議員会( 10 月 24 日(日)日医 )について( 鹿児島 )

日時：平成 22 年 10 月 24 日(日) 9 : 30~

場所：日本医師会館

代表・個人質問の件

8 月 20 日に文書発送、9 月 10 日締め切り、  
9 月 25 日の常任委員会で採否を決定。

九州ブロック日医代議員連絡会議開催  
の件

日時 平成 22 年 10 月 24 日(日) 9 : 00~ 9 : 30

場所 日本医師会館( 九州ブロック控室 )

### 4 . その他

1 ) 日医会長選挙制度に関する検討委員会の  
諮問について( 鹿児島 )

2 ) 日医医療政策会議の諮問について

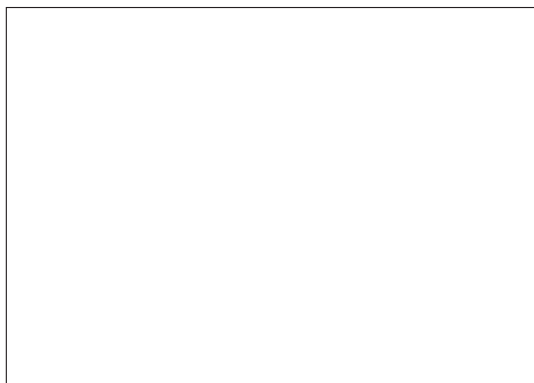
出席者 - 稲倉会長、大重事務局長

## 第 54回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成 22年度九州学校検診協議会( 年次大会 )

と き 平成 22年 8月 7日(土)～ 8日(日)

ところ 城山観光ホテル( 鹿児島市 )

メインテーマ：「未来を担う子どもたちの心と体  
—見つめ直そう，もう一度—」



平成 22年度九州学校検診協議会では，心臓・腎臓・小児生活習慣病の部門ごとに教育講演が行われた。心臓部門では「学校心臓検診における川崎病患児スクリーニング」と題し，鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野の野村裕一准教授，腎臓部門では「学校検尿異常のこどもをどう受けとめるか？～生活管理指導とその問題点～」と題し，熊本赤十字病院第一小児科の古瀬昭夫部長，小児生活習慣病部門では「小児肥満の現状と介入の費用対効果について」と題し，鹿児島医療センター小児科の吉永正夫部長による講演が行われた。

分科会では，眼科部門で 3 題の教育講演が行われ，耳鼻咽喉科部門では「学童期における鼻呼吸障害」をテーマにパネルディスカッションが行われた。また，運動器部門では，「小児の運動器疾患と学童期検診 - ロコモ対策を含め - 」と題し，

宮崎大学医学部整形外科学分野の帖佐悦男教授による教育講演が行われた。

九州ブロック学校保健・学校医大会総会では，「子どもたちの抱える心の悩みと学校医の役割～地域の関係機関との連携について～」をテーマにシンポジウムが行われた。鹿児島市立清水中学校養護教諭の深町富美子先生が，「保健室登校・不登校の現状(中学校の保健室から)」と題し，「不登校の問題の解決のため，近年，様々な方策が出されているが，『不登校』という言葉の中には様々な状態があり，学校だけでは対応できない事例も多い。専門医などどのように連携を取っていくかが重要である」と講演を行った。続いて鹿児島心理オフィス臨床心理士の堂籠やよい先生が，「スクールカウンセラーの活動状況について」と題し，「最近の児童生徒が抱える問題行動の背景には，心理社会的要因だけでなく，児童精神医療的要因に因るものも多い。児童生徒の支援の流れの中で，学校を中心とした地域の関係機関が連携していくためには，お互いの専門性の違いを認め合いながら，具体的な取り決めや方策についての議論が必要である」と発表，まつだこどもクリニックの松田幸久院長が，「地域ネットワークと学校医の役割」と題し，「近年，学校現場の変化に伴い，心の問題への関わりが重要となってきた。学校医が関わることでできないものは，責任を持って専門機関に紹介するなど，地域の社会資源を有効に活用できるネットワークを把握しておくことが大切である」

と講演した。また、鹿児島大学教育学部の橋口知准教授が、「子どもたちの心の健康を支える地域精神保健福祉」と題し、「学校精神保健は、子どもたちを支える大切な環境の一つである地域精神保健福祉の中に位置づけられる。学校医にも、子どものメンタルヘルスについて、医療的

な見地から学校を支援することが求められている。保健師、精神保健センターの利用など、地域の関係機関と連携・協働して子どもの心を支えよう」と講演を行った。その後、参加者との総合討論が行われ、最後に日本医師会の石川常任理事よりコメントをいただいた。

## 平成 22 年度九州学校検診協議会幹事会

福岡県の相良常任理事の司会により開会后、九州医師会連合の池田会長、九州学校検診協議会の松田会長より挨拶があった。慣例により、松田会長が座長に選出され、協議に入った。

### 1. 平成 22 年度九州学校検診協議会の事業報告並びに決算について

資料に基づき福岡県の原口理事より事業報告並びに決算について報告があった。

### 2. 平成 22 年度九州学校検診協議会の事業計画並びに予算について

福岡県の原口理事より資料に基づき報告があり、全会一致で承認された。

### 3. その他

#### 1) 九州学校腎臓病検診マニュアルの改訂について(鹿児島県)

鹿児島県の二宮専門委員より、本マニュアルの改訂について説明があった。11 月の本協議会専門委員会において最終決定をし、来年度から改訂版を使用できるよう進めて

いくこととなった。

#### 2) CKD 対策としての学校検尿(福岡県)

福岡県の伊藤専門委員より、日本小児腎臓病学会の中で、CKD 対策の一部として学校検尿の暫定診断名の全国統一を目指していく動きが出ているとの報告があった。

#### 3) 暫定診断名ウェブ登録のマニュアル配付について(福岡県)

福岡県の伊藤専門委員より、暫定診断名ウェブ登録のためのマニュアルの説明があった。ウェブ登録の運用方法については各県にお任せし、マニュアルの内容については、11 月の本協議会専門委員会にて最終決定することとなった。

出席者 - 稲倉会長、富田副会長、佐藤常任理事、  
宮田・高村学校医部会理事、  
大重事務局長、小川課長、高山主事

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会

(日本医師会学校保健担当理事との懇談会)

鹿児島県の本庄理事の司会により開会后、鹿児島県の池田会長、日本医師会原中会長の挨拶

があった。慣例により、池田会長が座長に選出され協議に入った。

## 協 議

## 1. 未成年者への禁煙指導について( 沖縄県 )

沖縄県の宮里理事より、「本県における未成年者への禁煙指導については、郡市医師会単位で取り組みが行われているが、各地区で温度差がある。県全体での統一的な活動を模索中だが、各県医師会における未成年者への禁煙指導、または今後予定している活動等があればご教示いただきたい」との提案があり、各県より資料に基づき回答があった。

日医石川常任理事 - 禁煙指導は昔から頭を悩ませている問題である。喫煙の害について啓蒙することだけではなく、喫煙に対する親の考え方、職員室での喫煙の問題、まちの環境等、周囲の禁煙に対する環境作りが、子どもたちの禁煙教育にはもっとも効果的ではないかと考えている。あるエイズ対策のシンポジウムで、薬物、たばこ、いじめ等の問題に対する総合的な取り組みとして、セルフエスティーム(自分を尊い存在だと思ふ)という教育を行っている保健師や養護教諭の活動が紹介されていた。禁煙に対する環境づくりには、セルフエスティームのような総合的な指導が必要となってくるのではないだろうか。

## 2. 新型インフルエンザ(A / H N 1)ワクチンの再接種の推進について( 福岡県 )

福岡県原口理事より、「新型インフルエンザワクチンについては、ワクチン接種後4か月で有効率は半分に低下するとの発表がなされている。多量のワクチン在庫の解消にも繋がり、特に、感染拡大の核となった児童・生徒に対するワクチン再接種が必要ではないかと考えている。先日、ワクチンの返品が可能との通知があったが、各県のご意見を伺いたい」との提案があり、各県より資料に基づき回答があった。

日医石川常任理事 - 学校において感染症の問題

は重要である。ワクチン買い取りの問題は、今年の2月から各県から要望があったため、3月には厚労省が買い取りの方向で検討していたようである。本年度の新型インフルエンザのワクチン接種については、高齢者については、今までどおりの方法で行うことで納得してもらったが、子どもたちのワクチン接種について、国が一定の価格制限を行うのは理解できないやり方であるので、ご意見があれば、会長の目安箱も活用してほしい。

日医原中会長 - 厚労省に対して、ワクチン買い取りは厚労省の義務だと言ったら、厚労省が最終的にメーカーに頼り、買い取りが行われることになった。季節性のワクチン接種については、市町村と郡市医師会との協議で決めるのが原則だが、高齢者や子どもに関しては、国がある程度干渉してきている。市町村に任せるなら任せるで、国は口を出すなど言っているが、日本はワクチンの後進国だと言われていて、それを返上するために国が干渉しようとしているのだろう。今年度の接種料金については、都道府県が平均値を決め、最終的に市町村と郡市医師会の協議で決定するのが一番良いのではないかなと思う。安い値段を国が示唆することだけではないようにしたい。ワクチン接種の実施機関は、地方自治体であるということを基本に考えてほしい。

中央情勢について

日医石川常任理事

日医の学校保健委員会の中で、地域医療活動の一環として学校保健を位置づけ、それに勤務医の参加を考えてほしい、との会長諮問があった。今季、文科省の初等中等教育局から、地域で子どもを見守るネットワーク作りへの医師会の参加要望があったが、そのことから、初等中等教育局の方であるのに医師会の学校保健活動が全く見えていないことが分

かり、学校保健活動をもっと国民に見える形にする必要があると感じた。産婦人科の勤務医からは、自分たちも性教育に関わりたいという意見も出ているので、学校医の数が足りない市町村には勤務医に協力を要請したいと考えている。まず、HPV の教育についてと運動器の問題に関しての 2 つのワーキンググループを作りたい。HPV の教育については、早期の教育が重要だが、学習指導要領の関係から、小学校 5・6 年生に対する教育は難しく、予防接種の必要性をどのように

教育していくかが問題である。メーリングリストを作成し、小グループでの会議を行い、2 年間でいくつか実効性のある委員会を行いたい。勤務医にどのように学校保健に関わってもらうのかを含め、ワーキンググループを作っている段階である。今後ともご協力をお願いしたい。

出席者 - 稲倉会長、富田副会長、佐藤常任理事、大重事務局長、小川課長、高山主事

## 平成 22 年度九州医師会連合会学校医会評議員会

鹿児島県の鮫島理事の司会により開会、鹿児島県の池田会長の挨拶および議長選出後、議事が進行された。

### 報 告

1. 平成 22 年度九州医師会連合会学校医会事業について(佐賀県)

2. 平成 22 年度九州医師会連合会学校医会歳入歳出決算について(佐賀県)

佐賀県の徳永専務理事より資料に基づき報告があり、1、2 とも承認された。

3. 平成 22 年度九州医師会連合会学校医会事業経過について(鹿児島県)

鹿児島県の鮫島理事より資料に基づき報告があった。

### 議 事

第 1 号議案 平成 22 年度九州医師会連合会学校医会事業計画に関する件(鹿児島県)

鹿児島県の江畑副会長より説明があり、原案どおり承認された。

第 2 号議案 平成 22 年度九州医師会連合会学校医会負担金並びに歳入歳出予算に関する件(鹿児島県)

鹿児島県の江畑副会長より、負担金について前年度と同額をお願いしたいとの提案がありそれに基づき予算案説明、審議の結果、原案どおり承認された。

第 3 号議案 第 55 回・第 56 回九州ブロック学校保健・学校医大会開催担当県に関する件(鹿児島県)

第 55 回を大分県で開催することが決定し、第 56 回を福岡県に内定したい旨の提案があり、承認された。

出席者 - 稲倉会長、富田副会長、佐藤常任理事、大重事務局長、小川課長、高山主事

## 薬事情報センターだより ( 281)

## 高血圧治療配合剤

近年、高血圧症を効能・効果とする配合剤が多く発売されています。昨年( 2009年 )はアンジオテンシン 受容体拮抗薬( ARB )とチアジド系利尿薬の配合剤が3剤発売されました。今年( 2010年 )も ARB とカルシウム拮抗薬( Ca拮抗薬 )の配合剤が3剤発売され、もう1剤発売される予定です( 2010年 9月 1日現在 )。これで、2006年に発売されたプレミメント配合錠を含め8剤 13規格となります。これらは従来から用いられてきた有効成分を同じ投与経路で用いる配合剤です。

近年、配合剤が増加した理由として、「医薬品の承認申請に際し留意すべき事項について」(平成 17年 3月 31日 薬食審査発第 0331009号)において、承認要件が 輸液等用時調製が困難なもの、副作用( 毒性 )軽減又は相乗効果があるもの、患者の利便性の向上に明らかに資するもの、その他配合意義に科学的合理性が認められるもの - と改められた点があります。 は従前と同様ですが、「その他特に必要と認められるもの」という要件が と明確になったことがあげられます。

日本高血圧学会の高血圧治療ガイドライン 2009

( JSH 2009)では、高血圧治療の第1選択薬として、Ca拮抗薬、ARB、アンジオテンシン変換酵素阻害薬( ACE阻害薬)、利尿薬、β遮断薬( 含αβ遮断薬 )の5種類があげられていますが、降圧目標を達成できない場合などには、併用療法が行われます。2剤の併用につき推奨される組み合わせとしては、RA系阻害薬( ARBあるいはACE阻害薬 )+ Ca拮抗薬、RA系阻害薬 + 利尿薬、Ca拮抗薬 + 利尿薬、Ca拮抗薬 + β遮断薬があげられています。現状では、これらの中で ARB + Ca拮抗薬、ARB + 利尿薬の組み合わせが配合剤で対応可能です。

配合剤は、各単剤による併用療法と比べ服薬する製剤の錠数を少なくすることができるので、患者さんのアドヒアランスの改善に寄与することで、血圧コントロールの改善に有用であると考えられます。

## 参考資料

医療用の配合剤が増えてきたのはなぜですか、月刊薬事 5( 4 ), 44-45. 2009

降圧薬の選択、調剤と情報 15( 5 ), 16-19. 2009

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史 )

## 高血圧治療配合剤( 2006年以降に発売された薬剤 )

薬 剤 名	配 合 成 分		
	ARB	Ca拮抗薬	利尿薬
プレミメント配合錠	ロサルタンカリウム		ヒドロクロロチアジド
エカード配合錠	カンデサルタン シレキセチル		ヒドロクロロチアジド
コディオ配合錠	バルサルタン		ヒドロクロロチアジド
ミコンビ配合錠	テルミサルタン		ヒドロクロロチアジド
エックスフォージ配合錠	バルサルタン	アムロジピンベシル酸塩	
レザルタス配合錠	オルメサルタン メドキシミル	アゼルニジピン	
ユニシア配合錠	カンデサルタン シレキセチル	アムロジピンベシル酸塩	
ミカムロ配合錠 ( 2010年 10月発売予定 )	テルミサルタン	アムロジピンベシル酸塩	

薬剤名は現在の名称

## 日医 FAX ニュースから

### ■ 消費税「課税制度に改善を」

#### — 1 年度税制改正で日医 —

今村聡常任理事は 9 月 1 日の会見で、日医の 2011 年度税制改正要望を発表した。要望項目は 28 項目で、うち消費税対策や事業税非課税措置など 15 項目を重点項目に挙げた。消費税対策については、消費税の軽減税率に否定的な見解を盛り込んだ税制改革大綱が閣議決定されていることを踏まえ、「仕入税額控除が可能な課税制度に改め、かつ患者負担を増やさない制度」への改善を求めている。

医療機関は医薬品や医療材料の仕入れの際に消費税を負担するが、診療報酬に対する消費税は非課税となっているため、仕入税額控除の適用を受けず、還付されることはない。日医は従来の税制改正要望で、消費税の非課税制度についてゼロ税率または軽減税率による課税制度に改めることを求めている。

会見で今村常任理事は「課税制度とすることで患者負担が増えることは望むところではない。還付付き税額控除などいろいろな方法があると思うが、それは政権が考えるところ」と述べ、具体的な方法は政府の判断に委ねる考えを示した。課税制度に改めるまでの緊急措置として、改築や高額な医療機器購入などの設備投資に関する仕入税額控除の特例措置創設を求めた。

診療報酬に対する事業税非課税措置と、医療法人の診療報酬以外の所得にかかる事業税の軽減税率については「今のところ政府税調での議論が見えてこないが、ここが変われば医療経営に大きな影響を及ぼす」とし、引き続き強く存続を求める考えを示した。さらに「医療機関は地域の医療・福祉を支えるために、さまざまな行政の事業に参加している。こうした実態を踏まえた上で、事業税について議論してほしい」と訴えた。

また所得税・法人税に関する診療報酬の所得計算特例についても「医師の優遇税制の典型と言われ、医師にとって有利だった部分も過去には

あった。しかし高齢で診療報酬の売り上げが少ない人が利用しているという実態がある」とし、存続を求めた。

このほかの重点項目には、たばこ税率の引き上げや特定医療法人、社会医療法人などへの寄付者に対する税制措置、公益法人制度改革に伴う医師会への寄付者の税制措置、医師会が行う開放型病院などの固定資産税等非課税措置の恒久化などを挙げている。（平成 22 年 9 月 3 日）

### ■ 基本診療料など優先検討

#### — 1 年度改定へ中医協 —

中医協（会長＝遠藤久夫・学習院大教授）は 9 月 8 日の総会で、2012 年度診療報酬改定に向けて初・再診料や外来管理加算、入院基本料を含む「基本診療料」などを優先して議論することで合意した。ただ、具体的な議論の方向性として、診療側は基本診療料に含まれるコスト分析調査の必要性を訴えたのに対し、支払い側は「手間がかかるし、正確な数値は把握できない」と反発。次回以降、診療側が調査の目的や具体的な手法を示すことにした。

事務局の厚生労働省保険局医療課はこの日の総会で、これまでに診療側、支払い側双方から提出されていた次期改定に向けた検討課題を再整理して示すとともに、双方とも「優先すべき」としていた「基本診療料」のほか、支払い側が求めている「医療と介護の連携（訪問看護、慢性期入院医療）」、診療側が求めている「勤務医の負担軽減」の 3 点を優先課題に挙げた。中医協・診療報酬改定結果検証部会の検証結果がまとまる来年春までに議論を進める方針を示し、了承された。

「基本診療料」について、安達秀樹委員（京都府医師会副会長）は「10 年度改定でも初・再診料や外来管理加算などは、要素がはっきりしないために財源論に埋没してしまった。オペレーティングコストやキャピタルコストの積み上げの試算をして、（基本診療料が）何への対価か、そのベースにあるのは何かを明確にしたい。積み上げた試算をそのまま（診療報酬として）欲しいと

主張するつもりはない」とし、コスト調査の必要性を訴えた。

これに対し白川修二委員(健保連専務理事)は、コスト調査にかかる手間などを指摘し「経費の中で基本診療料がどういう比重であるべきかや、入院に対する各種の加算と入院基本料の関係性などを議論すべき」と主張した。

遠藤会長も「コスト調査の目的とどのような調査をするのか、診療側でまとめた上で示してほしい」と診療側に要請し、診療側が同意した。

(平成 22年 9月 10日)

## ■ 予防接種キャンペーンをアピール — 日医 —

日医は9月9日、任意接種ワクチン6種類の定期接種化を求めるキャンペーンを12日から始めるのを前に、目的を一般市民に知らせるイベントを東京都内で開いた。日医の横倉義武副会長、羽生田俊副会長ら役員も集まり、子どものための定期接種の充実化を呼び掛けた。

キャンペーン名は「希望するすべての子どもに予防接種を!」。日医と予防接種推進専門協議会(日本ウイルス学会など11団体が構成)が共同で実施する。WHOが推奨し、日本では任意接種となっているH3N2(インフルエンザ菌b型)、小児用肺炎球菌、HPV(ヒトパピローマウイルス)、B型肝炎、水痘(水ぼうそう)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の6種類のワクチンについて、公費負担の定期接種化を訴えていく。10月末までのキャンペーン期間中、全国の医療機関などで署名を募る。

イベントでは、日医で感染症危機管理対策を担当する保坂シゲリ常任理事が「日本のワクチン政策は非常に遅れている」と危機感を表明。タレントの佐藤弘道さんとの公開対談を通じて、ワクチン行政の問題点などを指摘した。

(平成 22年 9月 14日)

## ■ 訪問看護の一人開業の解禁に反対 — 三上常任理事 —

三上裕司常任理事は、9月15日の定例記者会

見で、2010年9月10日に閣議決定された「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」の中に、規制・制度改革事項として取り上げられた「訪問看護ステーションの開業要件の緩和(一人開業の解禁)」について、日本医師会として反対する姿勢を強調。その理由としては以下の3点があるとした。

(1) 現在、訪問看護ステーションについては、小規模な事業所ほど経営状況が悪く、夜間・緊急時などの対応ができないなど、サービスを安定的に供給できていない状況にある。

(2) 特に、夜間や緊急時の対応については、他の業務に対応している場合や、病気などにより休暇を取得している場合などに必要なサービスが提供できず、その結果、利用者に悪影響を及ぼすおそれがあることなどへの配慮が必要である。

(3) 医療・介護・生活支援サービスを包括的に提供し、24時間365日を通した緊急時の対応が可能な地域包括ケアシステムの構築が現在求められており、地域包括ケア研究会の報告書にも書き込まれているが、訪問看護はその中核的な役割を果たすと考えられ、訪問看護サービスの安定的な供給が必要である。

さらに、三上常任理事は、仮に訪問看護ステーションの一人開業が認められた場合であっても、「看護師一人で医療ニーズの高い利用者を支えることは、負担が大きい」「事務負担や経営上の問題のため事業所の維持が困難である」などの理由から事業所の廃止が増え、結果として、現場から遠ざかっている潜在看護師の雇用創出にはつながらないと指摘。今回のことについては「安易な開業を認めることは、問題の多い看護師の一人開業を促し、結果として訪問看護サービス整備促進に、負の影響を与えかねないと危惧している。配置要件の緩和ではなく、まずは、サテライト事業所など仕組みを周知し、拡充していく形で訪問看護サービスを広げていくことが肝要と考える」と述べた。(平成 22年 9月 17日)

## 医師国保組合だより

## 平成 22 年度 宮崎県医師国民健康保険組合第 103 回通常組合会

と き 平成 22 年 7 月 29 日(土)

ところ 県医師会館

去る 7 月 29 日に、第 103 回通常組合会を開催し、規約の一部改正、平成 22 年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分について審議を行い、原案通り可決承認されたのでその概要を報告する。

まず、仮議長の互選を行い、仮議長に延岡市医師会の富田精一郎先生を互選し、議長及び副議長の互選を行った。その結果、議長に都城市北諸県郡医師会の武田信豊先生、副議長に宮崎市郡医師会の田崎高伸先生に決定した。

引き続き、物故者に対し弔慰黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶に続き議事に入った。

## 1. 議事の状況

## 1) 規約の一部改正について

規約第 4 条(保険料の賦課額)中、賦課額の区分、「A 会員組合員」、「B 会員組合員」の表記につき、県の指導監査で、組合員の範囲の中に「A 会員」、「B 会員」という区分が表記されていないという指摘を受け、規約第 7 条(組合員及び被保険者の範囲)の、「宮崎県医師会員である医師」とある部分を「宮崎県医師会員である A 会員及び B 会員とする」に改正することを上程し、承認を得た。

## 2) 平成 22 年度事業報告について

組合会に関する事項について、第 101 回、第 102 回の通常組合会を開催し、議案を上程し、いずれも原案通り可決承認を得た旨を報告。

理事会に関する事項については、延べ 6 回開催し、会議等の報告、主要議題につい

て協議した。

会務報告の連絡協議等に関する事項については、官庁(国保・援護課)関係、全国・九州ブロックの各種関連団体の諸会議について役員並びに職員で対応した。

被保険者数に関する事項について、前年度と比較してみると、組合員については 6 名の減、家族については 35 名の減、就学前が 10 名の減、前期高齢者(65 歳以上 75 歳未満)は 2 名の減、高齢組合員は 4 名減と毎年被保険者数が減少している。

保険料については、3 億 1,170 万 9,500 円の収納額で、収納率は 100%となっており、前年度と比較すると 200 万円程度の減となっている。

20 年度までは、所得割 + 均等割の保険料を賦課していたが、22 年度より定額制に変更した。

保険給付に関しては、療養諸費の保険者負担分を 20 年度と比較した場合、約 2 %程度の減となっている。その他の保険給付については、出産育児一時金、葬祭費、傷病手当金とも増となっている。

高額療養費については、減とはなっているが、それほど大差なく推移している。

健康診断については、受診率 37.20%と前年度と比較すると若干減少した。

季節性インフルエンザ予防接種補助については毎年、受診率が伸びている。

新型インフルエンザ予防接種については、

組合員のみが接種対象となっており、対象者 697名中 282名の組合員が接種、受診率 40.46%となっている。

歯科健診については、前年度に引き続き低調であった。

特定健診については、前年度 9.82%から、22.03%と大幅な伸びとなった。

以上、平成 21年度事業報告について報告し承認を得た。

### 3) 平成 21年度歳入歳出決算について

まず、歳入に関しては、保険料と補助金が主なものとなっており、歳入に占める割合は、保険料が 46.6%、補助金が 17.4%、繰越金が 33.4%というような割合となっている。

国庫支出金については、1 億 1,626万 8,930 円の補助金となっており、療養給付等補助金(療給・後期・介護・病床転換)は、毎年、少しずつ減少してきている。

一方、歳出に占める割合は、保険給付費が 48.9%、後期高齢者支援金が 18.7%、介護納付金が 8.4%となっており、合計で歳出の約 75.6%を占めている。その他に、組合会費・総務費関係で約 9.7%、保健事業費 4.2%となっている。

前期高齢者納付金については、250%と大

幅な伸びとなっているが、これは 2 年間の激変緩和措置(納付金の一部免除)により、21年度は 2/3 となったためである。22年度からは全額を納めることとなる。

保険給付費については、支出額が 2 億 1,015 万 7,59円となっており、対前年比 98.9%と約 2 %の減、後期高齢者支援金が 112.3%、前期高齢者納付金がいずれも大幅な伸びとなっている。

歳入合計 6 億 6,905万 5,569円、歳出合計 4 億 3,374万 6,612円で、歳入歳出差引残額は 2 億 3,530万 8,95円となり、単年度では、1,100万円程度の黒字決算となっている旨を説明し承認を得た。

### 4) 平成 21年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、「特別準備積立金」並びに「給付費支払準備積立金」については、法定額を大幅に超えており、今期の積立は必要なく、歳入歳出差引残額 2 億 3,530万 8,95円全額を、平成 22年度会計へ繰越とすることで承認を得た。

なお、平成 21年度歳入歳出差し引き剰余金の処分については、県への認可申請を行い、平成 22年 9 月 24日付で宮崎県知事の認可を得たので報告する。

### 出席議員

1. 市 来 能 成	14. 佐々木 幸 二
2. 猪 島 康 公	16. 山 田 孝 俊
3. 内 田 攻	17. 富 田 精一郎
4. 小 池 弘 幸	18. 井 手 稔
5. 高 村 一 志	22. 大久保 史 明
6. 田 崎 高 伸	23. 坂 田 師 隣
7. 田 中 俊 正	24. 福 岡 周 司
8. 谷 口 二 郎	25. 岡 本 将 幸
9. 原 田 雄 一	28. 花 田 武 浩
10. 福 永 隆 幸	30. 岩 見 晶 臣
11. 藤 木 浩	議員定数 30名
12. 武 田 信 豊	出席議員 23名
13. 出 水 善 文	

### 出席理事 9 名

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大 坪 睦 郎
"	河 野 雅 行
常務理事	高 橋 政 見
理 事	佐 藤 雄 一
"	大 塚 直 純
"	濱 田 政 雄
"	石 川 智 信
"	矢 野 裕 士

### 出席監事 2 名

監 事	川 島 謙一郎
"	瀬ノ口 頼 久

## 平成 27 年度 宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出決算書

歳 入 合 計 669,055,569 円

歳 出 合 計 433,746,612 円

歳入歳出差引残額 235,308,957 円

## 【歳 入】

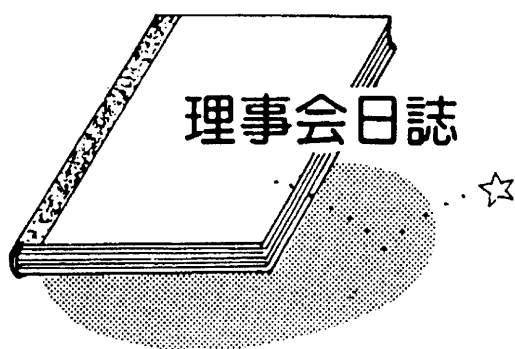
(単位：円)

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納損額	収入未済額	予算現額と収入済額の比較
1 国民健康保険料		285 004 000	311 709 500	311 709 500	0	0	26 705 500
	1 国民健康保険料	285 004 000	311 709 500	311 709 500	0	0	26 705 500
2 一部負担金		1 000	0	0	0	0	1 000
	1 一部負担金	1 000	0	0	0	0	1 000
3 分担金及び負担金		300 000	270 000	270 000	0	0	30 000
	1 負担金	300 000	270 000	270 000	0	0	30 000
4 国庫支出金		82 518 000	116 268 930	116 268 930	0	0	33 750 930
	1 国庫負担金	2 001 000	2 201 339	2 201 339	0	0	200 339
	2 国庫補助金	80 517 000	114 067 591	114 067 591	0	0	33 550 591
5 前期高齢者納付金		2 000	0	0	0	0	2 000
	1 前期高齢者納付金	2 000	0	0	0	0	2 000
6 県支出金		2 000	0	0	0	0	2 000
	1 県補助金	2 000	0	0	0	0	2 000
7 共同事業交付金		9 000 000	9 048 000	9 048 000	0	0	48 000
	1 共同事業交付金	9 000 000	9 048 000	9 048 000	0	0	48 000
8 財産収入		2 000 000	2 843 276	2 843 276	0	0	843 276
	1 財産運用収入	2 000 000	2 843 276	2 843 276	0	0	843 276
9 繰入金		5 000	0	0	0	0	5 000
	1 繰入金	5 000	0	0	0	0	5 000
10 繰越金		150 000 000	223 522 753	223 522 753	0	0	73 522 753
	1 繰越金	150 000 000	223 522 753	223 522 753	0	0	73 522 753
11 諸収入		4 252 000	5 393 110	5 393 110	0	0	1 141 110
	1 加算金・延滞金及び過怠金	1 000	0	0	0	0	1 000
	2 預金利子	200 000	307 327	307 327	0	0	107 327
	3 雑入	4 051 000	5 085 783	5 085 783	0	0	1 034 783
歳入合計		533 084 000	669 055 569	669 055 569	0	0	135 971 569

## 【歳 出】

(単位:円)

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度 繰越額	不 用 額	予算現額と 支出済額 との比較
1 組 合 会 費		8 150 000	4 246 007	0	3 903 993	3 903 993
	1 組 合 会 費	8 150 000	4 246 007	0	3 903 993	3 903 993
2 総 務 費		65 001 000	37, 941 924	0	27, 059 076	27, 059 076
	1 総 務 管 理 費	65 001 000	37, 941 924	0	27, 059 076	27, 059 076
3 保 険 給 付 費		239 102 000	210 157 597	0	28 944 403	28 944 403
	1 療 養 諸 費	210 720 583	186 824 180	0	23 896 403	23 896 403
	2 高 額 療 養 費	16 780 417	16 779 417	0	1 000	1 000
	3 移 送 費	1 000	0	0	1 000	1 000
	4 出 産 育 児 諸 費	1 600 000	760 000	0	840 000	840 000
	5 葬 祭 諸 費	5 000 000	1 980 000	0	3 020 000	3 020 000
	6 傷 病 諸 費	5 000 000	3 814 000	0	1 186 000	1 186 000
4 後期高齢者支援金等		85 050 000	81, 263 516	0	3 786 484	3 786 484
	1 後期高齢者支援金等	85 050 000	81, 263 516	0	3 786 484	3 786 484
5 前期高齢者納付金		12 010 000	11, 002 228	0	1 007, 772	1 007, 772
	1 前期高齢者納付金	12 010 000	11, 002 228	0	1 007, 772	1 007, 772
6 老人保健拠出金		11 000	5 295	0	5 705	5 705
	1 老人保健拠出金	11 000	5 295	0	5 705	5 705
7 介 護 納 付 金		37, 000 000	36 390 284	0	609 716	609 716
	1 介 護 納 付 金	37, 000 000	36 390 284	0	609 716	609 716
8 共 同 事 業 拠 出 金		12 010 000	9 914 000	0	2 096 000	2 096 000
	1 共 同 事 業 拠 出 金	12 010 000	9 914 000	0	2 096 000	2 096 000
9 保 健 事 業 費		23 110 000	18 263 427	0	4 846 573	4 846 573
	1 特定健康診査等 事業費	3 800 000	1 799 802	0	2 000 198	2 000 198
	2 保 健 事 業 費	19 310 000	16 463 625	0	2 846 375	2 846 375
10 積 立 金		15 002 000	15 000 000	0	2 000	2 000
	1 積 立 金	15 002 000	15 000 000	0	2 000	2 000
11 公 債 費		1 000	0	0	1 000	1 000
	1 一 般 公 債 費	1 000	0	0	1 000	1 000
12 諸 支 出 金		9 563 334	9 562 334	0	1 000	1 000
	1 償 還 金 及 び 還 付 加 算 金	9 563 334	9 562 334	0	1 000	1 000
13 予 備 費		27, 073 666	0	0	27, 073 666	27, 073 666
	1 予 備 費	27, 073 666	0	0	27, 073 666	27, 073 666
歳 出 合 計		533 084 000	433 746 612	0	94 543 132	99 337 388



平成 22 年 8 月 10 日(火) 第 8 回常任理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 日本医師会調査「看護職員が行う医行為の範囲に関する調査」への協力をお願いについて  
日本医師会が厚労省に対抗するための調査で、役員(病院 6・診療所 4)を中心に協力することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について  
支払基金宮崎支部幹事の推薦について  
→引き続き稲倉会長を推薦することが承認された。  
宮崎県医療審議会委員の推薦について  
→引き続き稲倉会長と河野副会長を委員に推薦することが承認された。
3. 後援・共催名義等使用許可について  
10/24日(西都)第 18 回宮崎県理学療法学会の名義後援(ご依頼)について  
→後援することが承認された。
4. 10/24日(日医)第 12 回日本医師会臨時代議員会の開催について  
4 名の代議員の出席が承認された。
5. 8/30日(日医)国際保健に関するセミナー「オバマ大統領の医療改革 - 日本への教訓」開催のご案内について  
古賀常任理事が参加することが承認さ

れた。

6. 特別養護老人ホームに関する日医への要望等について

6/1 に県国保援護課から出された文書に関連して、嘱託医への案内と日医への要望書を発出することが承認された。

7. 「戦没者を追悼し平和を祈念する宮崎県民の集い」へのご協賛のお願いについて

事務局で確認作業を行い慎重に対応することとなった。

8. 新型インフルエンザワクチン接種料金について

予防接種法の一部改正が国会で継続審議となっている関係もあり、今シーズンの接種料金を郡市医師会と市町村で早急に決定しなければならないため、郡市医師会への情報提供並びに県に対して要望書を発出することが承認された。

9. 平成 22 年介護サービス施設・事業所調査の実施に関する協力依頼について

本調査への協力は承認されたが、近年このような調査が多くなってきていること、調査主体が分かり難いこと、偏った統計手法により情報が悪用されるケースがあること等から、日医が承諾していない調査等には充分注意して対応することが確認された。

##### (報告事項)

1. 8/2日(月)・5日(木)・6日(金)(県内)初盆回りについて
2. 8/7日(土)(鹿児島)九医連常任委員会について
3. 8/5日(木)(幸加園)広報委員会について
4. 8/7日(土)・8日(日)(鹿児島)九州ブロック学校保健・学校医大会・学校検診協議会等について
5. 8/5日(木)(日医)都道府県医師会感染症危機管理担当事連絡協議会について

6 . 8 /4 (水) 県医 )全国医療法人経営セミナー実行委員会について

7 . 8 /6 (金) 県医 )訪問看護支援事業に関する会議について

8 . 8 /5 (木) 県医 )県医師会介護支援専門員連絡協議会理事会について

9 . 8 /9 (月) 県医 )学術生涯教育委員会について

10 . 8 /10 (火) 県医 )治験審査委員会について

医師連盟関係

( 議決事項 )

1 . 8 /2 (金) 自民党県連への要望事項について  
医師確保・税制・有床診療所関係について  
立元常任執行委員, 予防接種・ワクチン関係について  
佐藤常任執行委員, 本県の四大疾病予防対策・地域医療連携関係について  
古賀常任執行委員が資料をまとめることとなった。

平成 22年 8月 24日(火) 第 9 回常任理事会

医師会関係

( 議決事項 )

1 . 後援・共催名義等使用許可について  
10/9 (土) 宮日会館 )「目の健康講座」開催に伴うご後援( 名義使用 )許可のお願いについて  
→後援することが承認された。  
11/4 (木) 県福祉総合センター ), 11/6 (土) ( 宮日会館 )スミセイさわやか介護セミナーの名義後援のお願いについて  
→後援することが承認された。  
2 . 8 /28 (土) 宮崎市民文化ホール )「新生! みやぎの畜産」総決起大会の開催について  
稲倉会長の出席が承認され, 理事者も参加が可能であれば事務局に申し出ることとなった。

3 . 9 /2 (木) JA A Z M ホール )社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会について

石川常任理事の立会いが承認された。

4 . 9 /16 (木) 延岡 )社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会について

石川常任理事の立会いが承認された。

5 . 宮崎県医師会会員名簿の作成について

例年通り, 会員の意向を確認した上で名簿を作成することが承認され, 生年月日については, 記載方法を検討することとなった。

また, 意向調査を行う際, 県医師会メーリングリストへの加入促進を行うことが提案され承認された。

6 . 11/2 (土) 福岡 )平成 22年度九州学校検診協議会専門委員会の開催について

佐藤常任理事, 高村一志先生( 心臓部門 ), 宮田純一先生( 腎臓部門 ), 澤田浩武先生( 小児生活習慣病部門 )の出席が承認された。

7 . 10/1 (金) 県医 )宮崎県医師会パソコンセキュリティ研修会の開催について

医療安全対策研修会として, テレビ会議システムを用い開催することが承認された。

8 . 12/3 (金) 日医 )女性医師等相談窓口事業推進連絡協議会について

荒木常任理事が出席することが承認された。

9 . その他

平成 22年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について  
→締切りの関係で, 公衆衛生事業従事年数と年齢を考慮し, 会長先決で推薦を行っていた件に関して, 追加承認を行った。

( 報告事項 )

1 . 週間報告について

2 . 8 /17 (火) 県医 )公益法人化検討委員会について

3. 8/20(金) 県医) 各都市医師会長協議会について
4. 平成 27 年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について(協議に移行)
5. 8/16(月) ホテルマリックス)「小児救急医療電話相談事業」協力小児科医・相談看護師との事務打合せについて
6. 8/11(火) 日医) 日医病院委員会について
7. 8/18(水) 県医) 互助会会計監査について
8. 8/14(土) 宮観ホテル) 初期医師臨床研修・修了後専門研修説明会 in みやざきについて

医師連盟関係

(議決事項)

1. 8/26(木) 県医) 社会民主党との意見交換会について  
社民党から地域医療再生計画を中心に協議を行いたいとの要望があり、宮崎大学「地域医療学講座」について富田副委員長、小児救急医療電話相談事業について佐藤常任執行委員、へき地の医療体制及び産科医療(将来を見据えて)について立元常任執行委員が説明することが承認された。

平成 27 年 8 月 31 日(火) 第 9 回全理事会

医師会関係

(議決事項)

1. 9/25(土) 鹿児島) 九州医師会連合会第 313 回常任委員会の提案事項について  
会長一任とし、理事者で提案がある場合は事務局まで申し出ることとなった。
2. 10/24(日) 日医) 第 123 回日本医師会臨時代議員会における九州ブロック代表質問・個人質問について  
会長一任とし、理事者で提案がある場合は事務局まで申し出ることとなった。
3. 11/13(土) 鹿児島) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会における原中

日本医師会長講演「中央情勢報告」への要望事項等について

会長一任とし、理事者で提案がある場合は事務局まで申し出ることとなった。

4. 11/12(金)～14(日) 鹿児島) 第 110 回九州医師会総会・医学会等の開催に伴う参加申し込みについて

後日、事務局より意向を確認することとなった。

5. 第 39 回医療功労賞(主催：読売新聞社)受賞候補者の推薦について

1 名を推薦することとなった。

6. 11/2(土) 福岡) 九州各県医師会学校保健担当理事者会の開催について

佐藤常任理事が出席することとなった。

7. 予防接種キャンペーンについて

日本医師会の署名活動に協力することに加え、積極的に活動を行い、データ等を行政との交渉材料に利用するため、都市医師会に協力依頼を行うこととなった。

8. 9・10 月の行事予定について

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 8/12(木) 支払基金) 支払基金幹事会について
3. 8/28(土) 市民文化ホール)「新生！みやざきの畜産」総決起大会について
4. 8/31(火) 県企業局) 県立病院事業評価委員会について
5. 8/25(水) 宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
6. 8/26(木) 九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
7. 8/2(金) 日医) 日医地域医療対策委員会について
8. 8/26(木) 県衛生環境研究所) 県衛生環境研究所調査研究評価委員会について
9. 8/2(金) 県医) 県緊急搬送受入れ対策協議会について

- |                                              |                                            |
|----------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 10. 8 /30日( 日医 )国際保健に関するセミナーについて             | 医師国保組合関係<br>( 報告事項 )                       |
| 11. 8 /19日( 県医 )かかりつけ医認知症対応力向上研修等に関する打合会について | 1 . 8 /21日( 長崎 )九州地区医師国保組合連合会<br>全体協議会について |
| 12. 8 /23日( 県医 )介護保険委員会について                  | 2 . 8 /21日( 長崎 )全国国保組合協会九州支部総<br>会について     |
| 13. 8 /25日( 県医 )広報委員会について                    | 医師協同組合・エムエムエスシー関係<br>( 協議事項 )              |
| 14. 8 /25日( 県立美術館 )画家芸術展につ<br>いて             | 1 . 組合員加入承認について<br>1 名の新規加入が承認された。         |
| 15. 8 /13日( 県医 )医療保険委員会について                  | ( 報告事項 )                                   |
| 16. 8 /19日( JA 全農 )集团的個別指導について               | 1 . 医協運営委員会について                            |
| 17. 8 /25日( 日医 )日医社会保険指導者講<br>習会について         | 医師連盟関係<br>( 報告事項 )                         |
| 18. 8 /30日( 県医 )「保険診療の手引き」打合会<br>について        | 1 . 8 /24日( 日医 )日医連執行委員会について               |
| 19. 8 /21日( 大分 )中四九地区医師会看護<br>学校協議会について      | 2 . 8 /26日( 県医 )社会民主党との意見交換会に<br>ついて       |
| 20. 8 /31日( 県庁 )県准看護師試験委員会につ<br>いて           | 3 . 8 /2日( ホテルプラザ宮崎 )自民党県連政策<br>懇話会について    |
| 21. 8 /21日( 県医 )産業医研修会( 前期 )について             |                                            |

## 9月のベストセラー

- |    |                                                |           |                   |
|----|------------------------------------------------|-----------|-------------------|
| 1  | もし高校野球の女子マネージャーが<br>ドラッカーの「マネジメント」を読んだら        | 岩 崎 夏 海   | ダイヤモンド社           |
| 2  | 十字軍物語 1                                        | 塩 野 七 生   | 新 潮 社             |
| 3  | 日本の恐ろしい真実<br>財政 , 年金 , 医療の破綻は防げるか ?            | 辛 坊 治 郎   | 角川グループ<br>パブリッシング |
| 4  | アリアドネの弾丸                                       | 海 堂 尊     | 宝 島 社             |
| 5  | くじけないで                                         | 柴 田 ト ヨ   | 飛 鳥 新 社           |
| 6  | 肩こり・首痛は 99% 完治する<br>「緊張性頭痛」も「腕のしびれ」もあきらめなくていい! | 酒 井 慎 太 郎 | 幻 冬 舎             |
| 7  | 2011年ユーロ大炎上!<br>日本経済復活の始まり                     | 松 藤 民 輔   | 講 談 社             |
| 8  | 伝える力                                           | 池 上 彰     | PH P 研 究 所        |
| 9  | これからの「正義」の話をしよう                                | マイケル・サンデル | 早 川 書 房           |
| 10 | 新版<br>副島隆彦の今こそ金そして銀を買う                         | 副 島 隆 彦   | 祥 伝 社             |

宮脇書店本店調べ  
提供：宮崎店( 宮崎市青葉町 )  
☎ ( 0985 ) 23-7077

# 県 医 の 動 き

( 9 月 )

1	奥様医業経営塾(医協事務局) ピンクリボン活動みやざき実行委員会(事務局)	21	第 12 回常任理事会(会長他)
2	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事)	22	全体課長会(事務局) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (松本常任理事他)
4	県医学会(会長他)	24	地域産業保健センターコーディネーター会議 (事務局) 産業医研修会 県緊急搬送受入れ対策協議会(古賀常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他) 県医労災部会自賠委員会(松本常任理事) 損害保険医療協議会(松本常任理事)
5	新生児蘇生法講習会	25	ICLS 研修会 全医秘協医療保険請求事務実技試験委員会(福井) (長倉理事) 全医秘協常任委員会(福井) 長倉理事) 九医連常任委員会(鹿児島) 会長) 九医連各種協議会(鹿児島) 立元常任理事他) 全医秘協定例総会・運営委員会(福井) (富田副会長他) 九州医師協同組合連合会通常総会(長崎) (西村副理事長他)
6	各専門分科医会長会(会長他)	26	全医秘協研修会(福井) 長倉理事) ACLS 研修会
7	治験審査委員会(富田副会長他) 第 10 回常任理事会(会長他)	27	外部評価審査小委員会(事務局) 県精神科救急医療システム連絡調整委員会
8	M I Y A Z A K 臨床研修医セミナー(古賀常任理事)	28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 医協運営委員会(会長他) 第 10 回全理事会(会長他)
9	支払基金幹事会(会長) 医療従事者英語講座(中級編) 県産婦人科医会常任理事会(濱田常任理事)	29	奥様医業経営塾(医協事務局) 産業医研修会 労災診療指導委員会(河野副会長他)
10	糖尿病対策推進会議幹事会(会長他)	30	宮崎県保険者協議会(河野副会長) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事) 産業医研修会
11	自殺対策うつ病研修会(会長他) 産業医研修会(前期) 大塚常任理事) 県有床診療所協議会役員会(会長他) 学校医部会総会・医学会(会長他) 県有床診療所協議会総会(会長他)		
13	県弁護士会との協議会(会長他) 広報委員会(荒木常任理事)		
14	第 11 回常任理事会(会長他)		
15	奥様医業経営塾(医協事務局) 産業医研修会 三師会懇談会(会長他)		
16	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事) 日医ホームページ検討WG(日医) 荒木常任理事) 治験セミナー(会長他)		
17	救急医療委員会(会長他)		
18	県産婦人科医会市民公開講座・秋期定時総会 (濱田常任理事)		

## 追 悼 の こ と ば

延 岡 市 医 師 会

甲 斐 允 雄 先生

(昭和 5 年 10月 24日生 79歳)

弔 辞

本日、亡き甲斐允雄先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表致しまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生は予てより病氣療養中のところ、28日にお亡くなりになりました。今、先生の御遺影に向かいお別れの言葉を申し上げることになろうとは、私共医師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみと、さみしさで申し上げる言葉もございません。

ましてや、ご家族をはじめご遺族の方々、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ばかりかとお察し申し上げ、お慰めの言葉もなく、衷心よりお悔やみ申し上げる次第でございます。先生は、昭和 5 年 10月 24日、北郷村宇納間でお生まれになりました。昭和 3年、熊本大学医学部をご卒業され、その後、昭和 3年、延岡の地へ参られ、財団法人潤和会延岡中央病院にご勤務されました。

昭和 4年には地域住民の切なる希望にお応えになって、延岡市瀬の口町に甲斐整形外科医院をご開業なさいました。更に平成 20年には、ご子息の英三先生と一緒に病院の新築をされ、今日までの診療に共に携わってこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力しながら、公衆衛生、地域医療について深い関心と信念を持ち延岡の代表的な整形外科医として昼夜を問わず献身的な診療を行って参られました。

先生はご多忙な診療の傍ら昭和 5年から平成 5 年までの 10年間、延岡市医師会理事及び副会長を務められて医師会の数々の業務運営に力を

注がれました。

更には、平成 8 年から今年の 3 月までは、宮崎県医師会監事の要職を務められるなど、延岡市に限らず県にも目を向けられた幅広い取り組みは、私共会員のお手本となられました。

又、一方では長年にわたり、宮崎県警の警察嘱託医として、職員及び留置者の健康管理の指導や、検案業務に携わるなど、警察活動に多大な尽力をいただきました。その功績にたいし平成 18年には瑞宝双光章を授与されておられますし、先生の地域医療に関する功労は、救急医療事業に関する功労、学校保健、学校安全に関する功労など、県知事表彰さらには厚生労働大臣、文部科学大臣表彰など数々の輝かしいご功績を残しておられます。

このような、延岡市医師会歴史の創設者の一員としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり、痛恨の極みであります。先生にはまだまだ遣り残したことがたくさんありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、後継者の英三先生が立派にご活躍され、今後も医師として先生のご遺志に添って必ずや地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に対し尽くしてこられたご功績を忘れることなく、先生のお示しいただきました医療、更には医師会運営に取組む真摯なお姿を心に刻みながら、会員一同地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することは出来ませんが、ご家族をはじめご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げます、黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

甲斐允雄先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成 22年 8 月 30日

延 岡 市 医 師 会

会長 牧 野 剛 緒

# ナガイレーベン 白衣キャンペーン

期間 10月 18日(月) ~ 11月 17日(水)

期間後は通常価格( 25%OFF )となります。

ナガイレーベン製品  
定価の35%OFF!!

( 白衣 , キャップ , カーディガン等 )

シューズは対象外となります

カタログご希望の時はお電話下さい。

キャンペーン期間中の返品はご遠慮願います。

( 同商品のサイズ交換のみとなりますのでご了承下さい )

お申込み・お問合せは

宮崎県医師協同組合へ

TEL( 0985)23-9100・FAX( 0985)23-9179

### 日州医事投稿についてのお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、御意見などの投稿を随時受け付けております。以下の要領に依ってご投稿ください。

1. 原稿は 400 字詰原稿用紙 10 枚以内（約 4,000 字以内）  
写真・図（カラー印刷はできません）も歓迎しますが、これも含めて、上記以内になるようにお願いします（写真 1 枚は約 300 字に相当します）。
2. 原稿の採否、掲載月は広報委員会にご一任ください。  
なお、編集の都合により、用字・句読点等について修正することがあります。
3. 原則として、原稿はお返しいたしません。返戻を希望される方はその旨ご連絡ください。
4. 投稿後の加筆修正はご遠慮ください。
5. ご投稿の原稿が他誌に掲載、または掲載中の場合はその旨お知らせ下さい。
6. 原稿用紙は県医師会で用意しておりますが、市販の原稿用紙やワープロ印字のものでも結構です。原稿は、郵送の他、FAX、電子媒体にても受け付けております。テキスト形式で保存し、ディスクまたはメールにて下記へお届けください（投稿項目、タイトル、ご氏名を先頭に付記してください）。

宛 先：〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

宮崎県医師会広報委員会

FAX 0985 - 27 - 6550

E-mail: genko@miyazakimed.or.jp

本誌記事に対するご意見やご要望、アイデアなどもお待ちしております。

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 22年 9月 1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しております。ご覧ください。

### 1 . 求職者登録数 7人

#### 1 ) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	3	常勤, 非常勤
整 形 外 科	1	常勤
老 健 施 設	1	常勤
麻 酔 科	1	非常勤

#### 2 ) 女性医師求職登録数 1人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
老 健 施 設	1	非常勤

### 2 . 斡旋成立件数 30人

#### 1 ) 男性医師 22人 2 ) 女性医師 8人

### 3 . 求人登録 76件 264人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤 ・ 非 常 勤 別
内 科	85	常勤( 65), 非常勤( 20)
循 環 器 科	13	常勤( 13)
呼 吸 器 科	6	常勤( 6 )
外 科	23	常勤( 19), 非常勤( 4 )
整 形 外 科	18	常勤( 15), 非常勤( 3 )
産 婦 人 科	2	常勤( 2 )
眼 科	10	常勤( 8 ), 非常勤( 2 )
耳 鼻 咽 喉 科	1	常勤( 1 )
泌 尿 器 科	1	常勤( 1 )
皮 膚 科	1	常勤( 1 )
放 射 線 科	6	常勤( 6 )
リハビリテーション科	5	常勤( 2 ), 非常勤( 3 )
脳 神 経 外 科	12	常勤( 8 ), 非常勤( 4 )
神 経 内 科	3	常勤( 3 )
神 経 科	2	常勤( 2 )
精 神 科	18	常勤( 14), 非常勤( 4 )
麻 酔 科	9	常勤( 5 ), 非常勤( 4 )
小 児 科	6	常勤( 5 ), 非常勤( 1 )
血 液 内 科	3	常勤( 3 )
人 工 透 析	1	常勤( 1 )
健 診	2	常勤( 2 )
検 診	4	常勤( 1 ), 非常勤( 3 )
小 児 循 環 器 科	1	常勤( 1 )
消 化 器 内 科	11	常勤( 10), 非常勤( 1 )
救 命 救 急 科	2	常勤( 2 )
そ の 他	19	常勤( 19)

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
150005	医 )わか会ピア・メンタル ささき病院	宮 崎 市	精	1	非常勤
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	2	非常勤
160013	医 )三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳 , 整 , 放 , 麻 , 内	8	常勤・非常勤
160020	財 )弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精 , 内	2	常勤
160031	医 )同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼 , 神内 , 眼 , 耳 , 総診 , 呼外 , 循 臨病	9	常勤
160033	医 )如月会 若草病院	宮 崎 市	精 , 内	2	常勤
170040	医 )いなほ会 日高医院	宮 崎 市	内	1	常勤
170046	医 )社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	内 , 消内 , 内泌糖内 , 呼 , 放 , リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医 )慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内 , 眼	2	常勤
170052	医 )春光会	宮 崎 市	外 , 内	3	常勤
180061	医 )あいクリニック	宮 崎 市	精	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内 , 神内 , 整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	内	3	常勤
190089	医 )社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳 , 内 , 麻	4	常勤・非常勤
190094	医 )耕和会 迫田病院	宮 崎 市	整 , 内	3	常勤
190095	医 )慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医 )晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	内 , 外 , 消内 , リハ	9	常勤・非常勤
200103	社 )八日会 藤元中央病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	常勤
200104	医 )社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内 , 外 , 救急 , 化療 , リハ	6	常勤
200105	医 )誠友会 南部病院	宮 崎 市	内 , 外 , 放	3	常勤
210110	医 )幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内 , リハ	5	常勤・非常勤
220121	医 )社団 星井眼科医院	宮 崎 市	眼	1	常勤
220125	医 )仁和会 竹内病院	宮 崎 市	外	1	常勤
160008	医 )正立会 黒松病院	都 城 市	内 , 泌	2	常勤
160010	特医 )敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内 , 老内	2	常勤
170042	医 )豊栄会 豊栄クリニック	都 城 市	内	1	常勤
170056	医 )社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都 城 市	循 , 内 , 呼 , 神 , 脳 , 小循	8	常勤
170057	医 )清陵会 隅病院	都 城 市	内 , 外 , 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内 , 血内 , 循呼 , 内脳産 婦 ,	9	常勤
180069	社 )八日会 大悟病院	三 股 町	精 , 内	2	常勤
180081	医 )恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190084	医 )一誠会 都城新生病院	都 城 市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内 , 呼	4	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
190093	社 )八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	検診	2	常勤・非常勤
200106	医 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内 外	4	常勤・非常勤
210108	特医 敬和会 みまた病院	三 股 町	内 消内 循皮整 婦小 , 呼 放	10	常勤
210113	医 邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社 )八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
160034	特医 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外 消内 緩ケア	4	常勤
160036	医 久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内 脳循小 小児 眼 婦 神 内 老施	9	常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦 ,内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内 小 ,外 整	8	常勤・非常勤
210112	医 嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160028	日向市立東郷病院	日 向 市	内	1	常勤
160039	医 誠和会 和田病院	日 向 市	外 内 整 透	7	常勤
180068	医 洋承会 今給黎医院	日 向 市	循	1	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内 麻	4	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内 整 放	4	常勤
160023	医 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整 内 麻 眼 健診	5	常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼 循 消内 外	8	常勤
180077	医 聖山会 川南病院	川 南 町	眼 麻 脳	10	常勤・非常勤
150004	西都医師会病院	西 都 市	内 外	4	常勤
160024	医 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内 外 整	6	常勤・非常勤
150002	医 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医 同仁会 谷口病院	日 南 市	精	2	常勤
160022	医 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内 消内 神内	3	常勤
160037	医 十善会 県南病院	串 間 市	精 内	6	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内 神内 整 外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	麻 小 眼	3	常勤・非常勤
220124	医 月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
160019	医 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内 循呼 血内 健診 放 小	11	常勤
180076	医 友愛会 園田病院	小 林 市	外 内 整	4	常勤
190090	特医 浩然会 内村病院	小 林 市	精	1	常勤
190091	医 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整 内	2	常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内	1	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内 整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 22 年 9 月 15 日現在

1. 譲渡物件	<u>宮崎市大字瓜生野 1645-3 (矢野整形外科跡)</u> 土地：562.6坪：1,859.89㎡ 建物：鉄筋コンクリート造り 3 階建 (面積 1,047.89㎡：316.98坪)
	<u>宮崎市本郷南方 5465-6 (診療所跡)</u> 土地 1704.26㎡ (516.4坪) 建物：重量鉄骨造 2 階建 (平成 3 年築) 1 階 420.53㎡ (127.4坪), 2 階 340.79㎡ (103.3坪) 駐車場：25 台分
2. 賃貸物件	<u>日南市園田 2 -2 -5 (診療所跡)</u> 建物：鉄骨コンクリート造 2 階建 1 階 147.17㎡, 2 階 54.66㎡ 日南市油津で町の中心部です。
	<u>宮崎市曾師町 209-3 (診療所跡)</u> 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35㎡, 2 階 166.69㎡ 駐車場：10 台分
	<u>日向市上町 9 番 3 号 (医心内科跡)</u> 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積：312.08㎡ 駐車場：20 台駐車可 日向駅近くに位置し、バス、電車の便も良好です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

0985-23-9100 (代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyou@m-iyazakimed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 22年 10月 1 日現在

10				月						
1	金	14 00	県准看護師試験問題調整委員会	19	火	19 00	第 15回常任理事会	↑ 国 保 審 査 ↓		
		18 00	住吉昭信先生叙勲記念講演会			20	水		9 10	全体課長会（事務局）
		19 00	住吉昭信先生叙勲記念祝賀会	14 30	（日医）日医病院委員会					
		19 00	パソコンセキュリティ研修会	18 30	産業医研修会					
2	土	15 00	社保指導者講習会復講	21	木			19 00	宮崎市郡医師会例会・しののめ 医学会・特別講演会	
		15 00	県警察医会総会			13 30	地域産業保健センターコーディネーター 会議（事務局）			
		17 30	県警察医会懇親会			15 00	（日医）日医ホームページ検討WG			
3	日	13 30	認知症サポート医フォローアップ研修	22	金	16 00	（日医）日医広報委員会	↑		
		4	月			14 00	東九州地域医療産業拠点構想宮崎県研 究会		18 30	県産業保健連絡協議会・県産業医研修 連絡協議会
						19 00	県内科医会学術委員会		19 00	医業経営セミナー
						19 00	「保険診療の手引き」打合会			
5	火	18 15	治験審査委員会	23	土	19 00	第 13回常任理事会	↑ 社 保 審 査 ↓		
19 00	第 13回常任理事会	14 00	県薬事審議会							
6	水	19 00	健康スポーツ医学委員会			15 00	県緊急搬送受入れ対策協議会			
		19 00	公衆衛生・感染症委員会			19 00	医学会誌編集委員会			
7	木	18 30	産業医研修会	24	日	14 00	県訪問看護ステーション連絡協 議会総会・研修会	↑		
		8	金			12 30	全国医師国保組合連合会全体協議会		15 00	病院部会・医療法人部会合同研修会
15 00	（日医）日医医療秘書認定試験委員会					9	土		9 00	全国医療法人経営セミナー
9 30	全国医師会勤務医部会連絡協議会	9 30	（日医）日医臨時代議員会							
10	日			25	月	19 00	広報委員会	↑		
11	月	（体育の日）	19 00			公益法人化検討委員会				
		12 00	日本プライマリ・ケア連合会九州支部 代表世話人会			26	火		13 00	県精神保健福祉大会
12	火	16 00	支払基金幹事会						13 30	刑務所視察委員会
		18 00	治験審査委員会	18 00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会					
13	水	19 00	第 14回常任理事会	18 15	医協運営委員会					
		10 30	奥様医業経営塾（医協事務局）	19 00	第 11回全理事会					
14	木	17 00	宮崎県中部地域産業保健運営協議会	27	水	10 30	奥様医業経営塾（医協事務局）	↑		
		15	金			14 00	産業医研修会		15 00	労災診療指導委員会
						19 15	広報委員会		19 00	全国医療法人経営セミナー実行委員会
16	土	19 30	県産婦人科医会常任理事会	28	木	19 00	県認知症高齢者グループホーム連絡協 議会理事会		↑ 国 保 審 査 ↓	
		17	日			13 15	県犯罪被害者等支援連絡協議会幹事会 （事務局）	18 30		産業医研修会
						14 00	（日医）日医乳幼児保健検討委員会	19 00		女性医師委員会
18	月	19 00	健康教育委員会	29	金	14 00	（日医）日医地域医療対策委員会	↑		
		16	土			14 30	産業医研修会（実地）		14 00	産業医研修会
						15 00	県整形外科医会研修会		15 00	（日医）日医医療秘書認定試験委員会
17	日	16 30	県医介護支援専門員連絡協議会総会研修会	30	土	15 30	園医部会総会・研修会		↑	
		18	月					16 00		県小児科医会役員会

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 22 年 10 月 1 日現在

11			月		
1	月	13 00 日医設立記念医学大会 19 00 「保険診療の手引き」打合会 19 00 県内科医会誌編集委員会	17	水	9 10 全体課長会（事務局） 14 00 産業医研修会
2	火	19 00 第 16 回常任理事会	18	木	
3	水	（文化の日） 8 20 県医親善ゴルフ大会	19	金	19 00 生活習慣病検診従事者研修会 19 00 医学賞選考委員会
4	木		20	土	9 00 全国学校保健・学校医大会 15 00 生活習慣病検診従事者研修会 17 00 宮崎県プライマリ・ケア研究会 総会・講演会
5	金				
6	土	15 00 生活習慣病検診従事者研修会 16 00 県外科医会秋期講演会 17 00 全国医師協同組合連合会通常総会			
7	日		21	日	
8	月		22	月	
9	火	19 00 第 1 回常任理事会	23	火	（勤労感謝の日）
10	水	10 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 14 00 産業医研修会 16 00 支払基金幹事会	24	水	10 30 奥様医業経営塾（医協事務局） 15 00 労災診療指導委員会 18 30 県医諸会計監査 19 00 広報委員会
11	木	18 30 産業医研修会			
12	金	16 00 九医連常任委員会 17 00 九医連臨時委員総会	25	木	14 00 産業医研修会 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会 18 30 医協会計監査
13	土	10 00 九医連委員・九州各県医師会役員合 同協議会 13 00 九州医師会総会・医学会 13 00 糖尿病週間県民公開講座 18 30 世界糖尿病デー in 宮崎 2010			15 00（日医）日医医療秘書認定試験委員会 19 00 医療安全対策セミナー
14	日	九医学分科会・記念行事	27	土	14 30 産業医研修会 15 00 九州学校検診協議会専門委員会 17 10 九州各県学校保健担当理事者会
15	月	19 15 広報委員会			
16	火	18 00 医協運営委員会 18 30 第 12 回全理事会 19 20 県福祉保健部・病院局と県医師会と の懇談会	28	日	
			29	月	
			30	火	19 00 第 18 回常任理事会

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
 アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 9 回宮崎内視鏡 外科研究会 ( 2 単位 ) ( CC 1 . 2 . 5 )	10月 1 日(金) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル 500円	胸腔鏡下食道切除術 - 側臥位 V S 腹臥位 - 慶應義塾大学医学部外科学教授 北川 雄光	主催 宮崎内視鏡外科研究会 共催 ジョンソン・エン ド・ジョンソン(株) ☎ 092-441-3807
宮崎県警察医会総 会・特別講演会 ( 2 単位 ) ( CC 1 . 2 . 3 . 4 )	10月 2 日(土) 15 00~ 17 00 宮崎北警察署	高齢者介護虐待事例 宮崎県警察医会幹事 大西 雄二 在宅死の現状と検案業務 東海大学医学部法医学教授 大澤 資樹	主催 宮崎県警察医会 ☎ 0985-22-5118
第 18回宮崎血管内 治療 IV R 研究会 ( 2.5 単位 ) ( CC 1 . 10. 30. 31. 35 )	10月 2 日(土) 16 30~ 19 00 ホテル JAL シティ 宮崎 500円	血管短絡の塞栓術 大分大学医学部附属病院 放射線科准教授 清末 一路	共催 宮崎血管内治療 IV R 研究会 バイエル薬品(株) ☎ 0985-60-2532
第 21回宮崎県肺癌 研究会 ( 2 単位 ) ( CC 9 . 45 )	10月 5 日(火) 18 30~ 20 30 宮崎観光ホテル 500円	非小細胞肺癌に対する化学療法と悪心嘔 吐対策 - 治療選択のしかたと実際 - 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科外来医長 久保田 馨	共催 宮崎県肺癌研究会 大鵬薬品工業(株) ☎ 0985-27-4527 後援 宮崎県医師会
南那珂医師会生涯 教育医学会 ( 1 単位 ) ( CC 18. 21 )	10月 6 日(水) 18 45~ 20 00 南那珂医師会館	B 型肝炎の患者さんをどう診るか？ 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター准教授 永田 賢治	共催 南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 ブリストル・マイ ヤーズ(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) ( 2 単位 ) ( C C 11.12.82)	10月 7 日(木) 18 30~ 20 30 県医師会館	(3)健康管理 産業保健領域における健康診断 宮崎産業保健推進センター所長 小岩屋 靖	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡産婦人科 医会第 42 回症例検 討会 ( 1 単位 ) ( C C 2 . 9 )	10月 7 日(木) 19 30~ 20 30 宮崎市郡医師会病院	各医院からの紹介例 宮崎市郡医師会病院産婦人科 永井 義雄	主催 宮崎市郡産婦人科医会 ☎ 0985-53-3434
第 9 回県北呼吸器 カンファレンス学 術講演会 ( 1.5 単位 ) ( C C 46.73.79)	10月 8 日(金) 19 00~ 20 30 ホテルメリージュ 延岡	アドエアで症状の改善がみられた C O P D の 1 例 山本医院院長 山本 剛 喘息を合併した C O P D の診断と治療 熊本大学医学部附属病院 呼吸器内科講師 濱本 淳二	共催 県北呼吸器カンファ レンス 延岡医学会 グラクソ・スミス クライン(株) ☎ 080-1015-5675 後援 延岡内科医会
第 41 回都城心臓血 管懇話会 ( 1.5 単位 ) ( C C 74.78.82)	10月 8 日(金) 19 00~ 20 30 ホテル中山荘	脳をターゲットにした循環器治療 九州大学先端心血管治療学 岸 拓弥	主催 都城心臓血管懇話会 ☎ 0986-22-0711 共催 アステラス製薬(株) 日本ベーリンガーイ ンゲルハイム(株)
第 9 回宮崎難治性 疼痛研究会 ( 3 単位 ) ( C C 60)	10月 8 日(金) 19 00~ 21 00 県医師会館 1,000円	慢性腰痛の病態 福島県立医科大学医学部 整形外科教授 紺野 慎一	共催 宮崎難治性疼痛研究会 日本臓器製薬(株) ☎ 096-386-0441 後援 宮崎県医師会

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
第 41回宮崎県スポーツ学会 ( 3 単位 ) ( C C 11.12.23. 61.72.82)	10月 9 日(土) 15 30~ 19 00 県医師会館 1,000円	スポーツ栄養マネジメントの理解と実際 神奈川県立保健福祉大学 栄養学科教授 鈴木 志保子 スポーツ障害予防のためのトレーニング 国立スポーツ科学センタースポーツ 医学研究部前任研究員・アスレティッ クトレーナー 松田 直樹 成長期のスポーツ傷害 - 離断性骨軟骨炎について - 滋賀医科大学整形外科教授 松末 吉隆	共催 宮崎県スポーツ学会 ファイザー(株) ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 ( 1 単位 ) ( C C 65.66)	10月 13日(水) 18 50~ 21 00 ホテルベルフォート 日向	前立腺特異抗原( PSA )を考える - 検診は ? B H P では ? カットオフ値は ? - 宮崎大学医学部泌尿器科学教授 賀本 敏行	共催 日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 グラクソ・スミスク ライン(株) 大鵬製薬工業(株)
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( C C 11.69.70)	10月 14日(木) 14 00~ 16 00 都城圏域地場産業 振興センター	(4)メンタルヘルス対策 心が健康になるために - セルフケア - 都城新生病院 前原 正法	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
延岡医学会学術講演会 ( 1 単位 ) ( C C 74.76)	10月 15日(金) 18 40~ 19 55 ホテルメリージュ 延岡	糖尿病血管症の治療戦略 久留米大学医学部糖尿病性血管合併 症病態・治療学教授 山岸 昌一	共催 延岡医学会 大日本住友製薬(株) ☎ 0985-29-5855 後援 延岡内科医会
学術講演会 ( 1.5 単位 ) ( C C 13.29.83)	10月 15日(金) 19 00~ 20 30 ホテルスカイタワー	認知症の周辺症状に対する薬物療法 宮崎大学医学部精神医学教授 石田 康	共催 宮崎県精神科医会 (株)ツムラ ☎ 0985-28-9663

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修・生涯研修の実 地研修会 2 単位) ( 2 単位 ) ( C C 1 . 11. 12 )	10 月 16 日 ( 土 ) 14 30 ~ 16 30 県医師会館	( 1 ) 健康管理 疫学に関する基礎知識 ( 実習 ) 熊本大学公衆衛生・医療科学教授 加藤 貴彦	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会介護 支援専門員 ( ケアマ ネジャー ) 連絡協議 会平成 27 年度総会 ・研修会 ( 1.5 単位 ) ( C C 14. 80. 81 )	10 月 16 日 ( 土 ) 16 30 ~ 18 30 宮崎観光ホテル	在宅及び居住系施設での終末期に関する 診療報酬の現状と留意点 外山内科神経内科医院院長 外山 博一	主催 宮崎県医師会介護 支援専門員連絡協議会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡外科医会 10 月例会 ( 1 単位 ) ( C C 49. 80 )	10 月 18 日 ( 月 ) 19 10 ~ 20 10 宮崎観光ホテル	在宅歯科診療と摂食・嚥下リハビリテー ション指導 宮崎市郡東諸県郡歯科医師会 宮崎歯科福祉センター 清山 美恵	主催 宮崎市郡外科医会 ☎ 0985-53-3434
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 ( 1.5 単位 ) ( C C 73. 76. 82 )	10 月 19 日 ( 火 ) 19 00 ~ 20 30 ホテル中山荘	2 型糖尿病治療の新しい流れ - より良質の血糖コントロールを目指し て - 東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・ 内分泌内科教授 東條 克能	主催 都城市北諸県郡医 師会内科医会 ☎ 0986-22-0711 共催 万有製薬 ( 株 ) シェリング・プラウ ( 株 )
宮崎県医師会産業 医研修会 ( 生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( C C 11. 12. 77 )	10 月 20 日 ( 水 ) 18 30 ~ 20 30 県医師会館	( 1 ) 総論 職場における転倒防止対策 大西医院院長 大西 雄二	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎市郡医師会 10 月例会ならびにし ののめ医学会・特 別講演会 ( 1 単位 ) ( CC 9 .11)	10月 20日(水) 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル	冬の感染症 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学教授 岡山 昭彦	主催 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434
第 4回宮崎インター ベンション研究会 ( 1.5単位 ) ( CC 1 .8 .11)	10月 20日(水) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	大動脈弁の外科治療の未来 倉敷中央病院心臓血管外科主任部長 小宮 達彦	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 田辺三菱製薬(株)
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 ( 2 単位 ) ( CC 73.74.76.82)	10月 21日(木) 19 00~ 21 00 ガーデンベルズ小林	24時間高血圧研究 Up to Date 宮崎大学医学部地域医療学・ 自治医科大学循環器内科学助教 矢野 裕一朗	主催 西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 共催 ノバルティスファーマ(株)
宮崎県認知症を考 える会学術講演会 ( 1 単位 ) ( CC 29)	10月 22日(金) 19 00~ 20 00 M R T m i c c	認知症診療の過去・現在・未来 東京都健康長寿医療センター理事長 松下 正明	共催 宮崎県認知症を考える会 エーザイ(株) ☎ 0985-26-2676 ファイザー(株)
第 13回宮崎県眼科 医会講習会 ( 3 単位 ) ( CC 36)	10月 23日(土) 16 00~ 19 00 ホテルスカイタワー 3,000円 ( 開業医・勤務医 ) 2,000円 ( 公的医療機関勤務医 )	原発閉塞隅角緑内障の発症機序( 仮 ) 琉球大学医学部附属病院眼科講師 酒井 寛 黄斑浮腫の診断と治療( 仮 ) N T T 東日本東北病院眼科部長 志村 雅彦	主催 宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
江南医療連携の会・ 特別講演会 がん検診 胃・大腸) ( 1.5 単位 ) ( CC 51.52.53)	10 月 23 日 (土) 19 00~ 20 30 M R T m i c c 500 円	消化器癌の診断と治療の最前線 鹿児島大学腫瘍制御学・ 消化器外科学教授 夏越 祥次	共催 江南医療連携の会 エーザイ(株) ( 連絡先 ) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
第 20 回ひむか東洋 医学会学術大会 日本東洋医学会専 門医制度委員会九 州支部宮崎県部会 平成 27 年学術大会 ( 3 単位 ) ( CC 15.73.83)	10 月 24 日 (日) 10 00~ 宮崎県総合農業試験 場	モダン漢方( 仮 ) 新宿海上ビル診療所 西元 慶治	主催 日本東洋医学会専門 医制度委員会九州支 部宮崎県部会 共催 宮崎県東洋医会 ( 連絡先 ) 宮崎大学医学部産婦人科 ☎ 0985-85-0988
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の更新研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC 1 .7 )	10 月 25 日 (月) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 最近改正された「産業保健」関係法令 西部労働衛生コンサルタント 事務所代表 矢崎 武	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
西都市西児湯内科 医会学術講演会 ( 2 単位 ) ( CC 9 .83)	10 月 26 日 (火) 19 00~ 21 00 ホテルプリムローズ	巧加齢医学としての漢方治療 ちぐさ東洋クリニック院長 川越 宏文	主催 西都市西児湯内科医会 共催 西都市西児湯医師会 ☎ 0983-43-1687
第 61 回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 ( 1.5 単位 ) ( CC 1 .2 .15)	10 月 27 日 (水) 19 00~ 20 30 宮崎観光ホテル	ブランク不安定性とバイオマーカー 大阪市立大学病理病態学教授 上田 真喜子	共催 宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 エーザイ(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) ( 2 単位 ) (CC 1 .11.12)	10月 28日(木) 18 30~ 20 30 都城市北諸県郡医師 会館	(1)総論 産業保健領域における健康診断 宮崎産業保健推進センター所長 小岩屋 靖	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎市郡産婦人科 医会 10月例会 ( 1 単位 ) (CC 8 .11)	10月 28日(木) 19 00~ 20 00 宮崎観光ホテル	切迫早産をめぐる最近の問題 - 早い妊娠 週数における自然早産を減らすには... - 秋田赤十字病院産科部門センター長 平野 秀人	共催 宮崎市郡産婦人科 医会 ☎ 0985-53-3434 久光製薬(株)
第 12回宮崎 感染と 免疫 研究会 ( 1.5単位 ) (CC 11.13.46)	10月 28日(木) 19 00~ 20 45 ホテルJALシティ 宮崎	インフルエンザ update 原土井病院臨床研究部長 池松 秀之	共催 宮崎 感染と免疫 研究会 宮崎県内科医会 大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) ( 2 単位 ) (CC 11.68.69.70)	10月 29日(金) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(4)メンタルヘルス対策 メンタルヘルス相談事例... 2 宮崎大学医学部精神医学准教授 植田 勇人	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
抗血小板療法を考 える会 ( 1.5単位 ) (CC 78)	11月 5日(金) 19 00~ 21 00 宮崎観光ホテル	アテローム血栓症と抗血小板療法 関西医科大学医学部内科学第 1 講座 教授 野村 昌作	共催 宮崎県内科医会 大塚製薬(株) ☎ 0985-24-2287

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 22 年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳・ 胃・大腸) ( 2 単位 ) ( CC 2 .11.12.82)	11 月 6 日(土) 15 00~ 17 10 延岡市医師会病院	肺癌診療の現状と今後の治療戦略について 宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸 内分泌代謝学助教 柳 重久 乳癌をいかに早期に発見するか プレストピアなんば病院長 駒木 幹正 胃癌に対する外科診療の現況 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 助教 日高 秀樹 大腸がんの最近の知見 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 山本 章二郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
宮崎県精神科診療 所協会学術講演会 ( 1 単位 ) ( CC 70)	11 月 6 日(土) 18 50~ 20 00 宮崎観光ホテル	うつ病患者の職場復帰支援について N T T 東日本関東病院精神神経科部長 秋山 剛	主催 宮崎県精神科診療所協会 共催 ファイザー(株) ( 連絡先 ) ハートピア細見クリ ニック ☎ 0985-35-1100
「皮膚の日」講演会 ( 1.5 単位 ) ( CC 1 .2 .9 )	11 月 7 日(日) 14 00~ 15 30 宮日会館	必須微量元素「亜鉛」の重要性を知ろう 青木皮膚科 出盛 允啓	主催 宮崎県皮膚科医会 共催 日本臨床皮膚科医会 後援 厚生労働省 日本医師会 宮崎県医師会 N H K ( 連絡先 ) 青木皮膚科 ☎ 0985-23-2011
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC 11.12.69)	11 月 10 日(水) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(5)健康保持増進 職場での行動変容指導 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の更新研修会 2 単 位) ( 2 単位 ) ( C C 1 . 7 )	11月 11日(木) 18 30~ 20 30 都城市北諸県郡医師 会館	(1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 最近改正された「産業保健」関係法令 西部労働衛生コンサルタント 事務所代表 矢崎 武	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第 54回江南医療連 携の会・症例検討 会 ( 1.5 単位 ) ( C C 42.53.61)	11月 11日(木) 19 00~ 20 30 社会保険宮崎江南病 院	聴診を契機に診断しえた冠動脈瘤肺動脈 瘻の一例 宮崎江南病院内科医員 渡邊 裕貴 2010年前期大腸手術症例 同病院外科医員 出先 亮介 人工骨頭挿入術後の大腿骨々折 同病院整形外科部長 本部 浩一	主催 江南医療連携の会 (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位) ( 2 単位 ) ( C C 11.82)	11月 17日(水) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(3)健康管理 勤労者の問題飲酒の治療的介入(プレアル コーリック)について 野崎病院長 後藤 勇	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
平成 22年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳・ 胃・大腸) ( 2 単位 ) ( C C 2 . 11.12.82)	11月 19日(金) 19 00~ 21 10 県医師会館 TV 会議 延岡・日向・児 湯・西都・西諸・西 臼杵)	肺癌診療の現状と今後の治療戦略につい て 宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸 内分泌代謝学助教 柳 重久 乳癌をいかに早期に発見するか プレストピアなんば病院副院長 古澤 秀実 胃癌に対する外科診療の現況 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 助教 日高 秀樹 大腸がんの最近の知見 同大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 山本 章二郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 27 年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳・ 胃・大腸) ( 2 単位 ) ( CC 2 .11.12.82)	11月 20日(土) 15 00~ 17 10 都城市北諸県郡医師 会館	肺癌診療の現状と今後の治療戦略につい て 宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸 内分泌代謝学助教 柳 重久 乳癌をいかに早期に発見するか プレストピアなんば病院副院長 前田 資雄 胃癌に対する外科診療の現況 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 助教 日高 秀樹 大腸がんの最近の知見 同大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 山本 章二郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の専門研修会 2 単 位 ) ( 2 単位 ) ( CC 1 .7 .69.70)	11月 25日(木) 14 00~ 16 00 宮崎産業保健推進 センター	(1)総論 脳・心臓疾患の労災認定 - 「過労死」と労災保険 - 宮崎産業保健推進センター副所長 堀添 貞茂 精神障害等の労災認定について 同上	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研修 の後期研修会 生涯 研修の専門研修会 4 単位 ) ( 4 単位 ) ( CC 1 .11.68. 69.70)	11月 27日(土) 14 30~ 18 30 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 メンタルヘルスケアについて - 産業保健の立場から - 産業医科大学精神保健学准教授 廣 尚典 メンタルヘルスケアについて - 精神科の立場から - 大分大学医学部精神神経医学教授 寺尾 岳	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

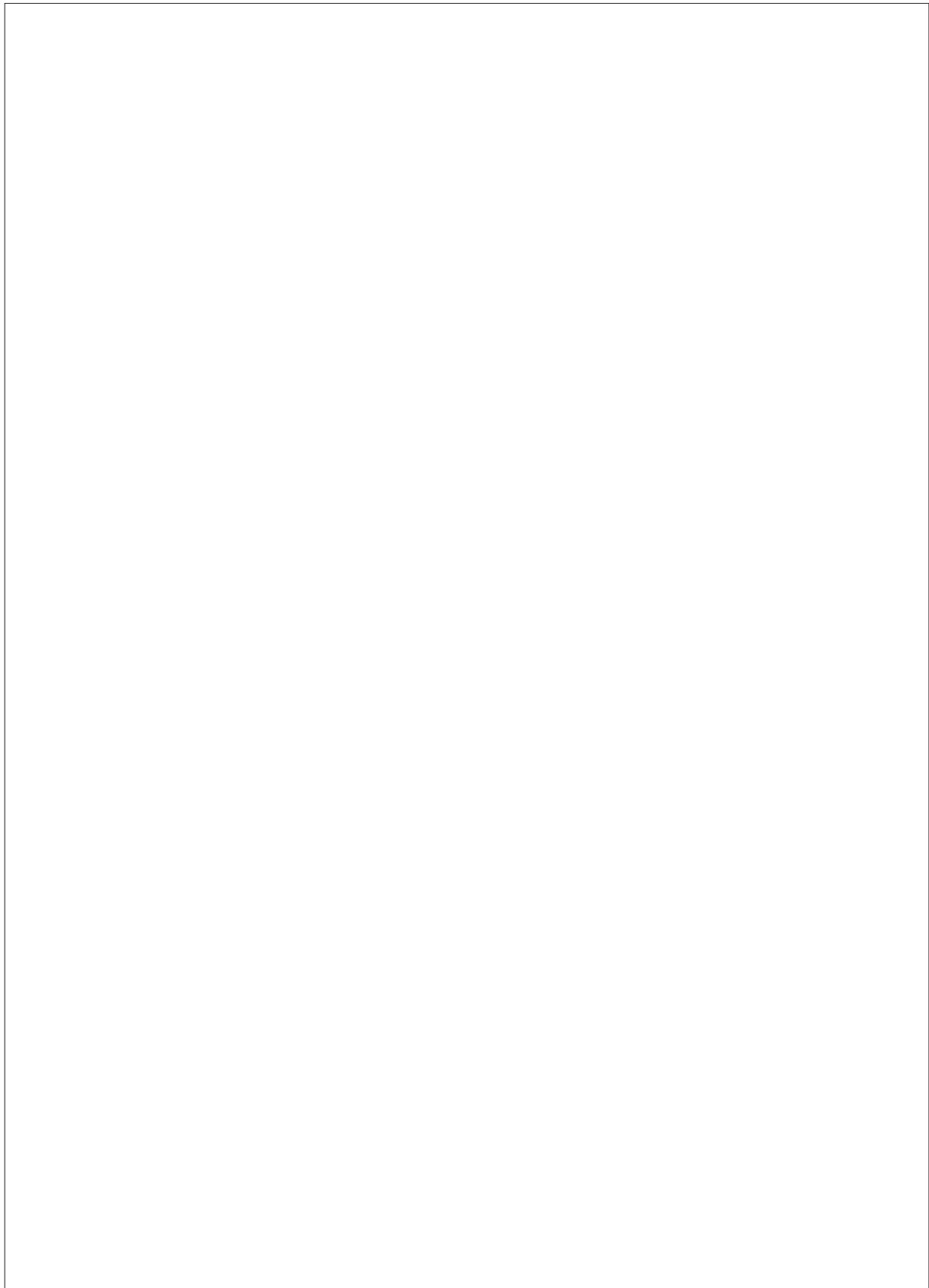
名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の <u>実地研修会</u> 2単 位) (2単位) (CC 1.11)	11月 27日(土) 15 00~ 17 00 双信パワーテック (定員 40名)	(7)職場巡視と討論 事業所見学による作業環境の体験 都北西諸医師会産業医部会会長 有川 憲蔵 双信パワーテック(株)嘱託産業医 大岐 照彦	主催 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の <u>更新研修会</u> 2単 位) (2単位) (CC 7.69.70)	12月 2日(木) 18 30~ 20 30 都城市北諸県郡医師 会館	(1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 メンタルヘルス対策における職場復帰 支援 - 職場復帰支援の手引きについて - 宮崎産業保健推進センター副所長 堀添 貞茂	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研修 の <u>専門研修会</u> 3.5単 位) (3.5単位) (CC 1.11.69.70)	12月 4日(土) 13 00~ 16 30 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 職場復帰支援対策 宮崎若久病院長 倉山 茂樹 長時間労働者に対する医師による面接 指導 福元医院院長 福元 廣次 メンタルヘルス対策について ハートピア細見クリニック心理相談 室長 渡邊 尚孝	共催 宮崎産業保健推進センター 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
第 4 回はまゆう整 形外科セミナー (1単位) (CC 1.72)	12月 4日(土) 17 30~ 18 30 宮崎観光ホテル 1,000円	側弯症診療の実際 - 正しい理解と適切な対応に向けて - 宮崎大学医学部整形外科講師 黒木 浩史 若き整形外科医へ贈る言葉 - 守 破 離 - 谷口整形外科院長 谷口 博信	主催 はまゆう整形外科セミナー (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 = 連絡先
平成 22 年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 がん検診 肺・乳・ 胃・大腸) ( 2 単位 ) ( CC 2 .11.12.82)	12 月 13 日 ( 月 ) 19 00 ~ 21 10 県医師会館 TV 会議 都城・延岡・日 向・児湯・西都・南 那珂・西諸・西臼杵)	肺癌診療の現状と今後の治療戦略について 宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸 内分泌代謝学助教 柳 重久 乳癌をいかに早期に発見するか プレストピアなんば病院放射線科 中原 浩 胃癌に対する外科診療の現況 宮崎大学医学部腫瘍機能制御外科学 助教 日高 秀樹 大腸がんの最近の知見 同大学医学部内科学講座 消化器血液学助教 山本 章二郎	主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県

## 日本医師会生涯教育カリキュラム ( 2009 )

カリキュラムコード ( 略称 CC )

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・不正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師・患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害 ( 尿失禁・排尿困難 )
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔声	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害 ( うつ )
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫張	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便通異常 ( 下痢・便秘 )	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療 ( 漢方医療を含む )
28 発熱	56 熱傷	84 その他



## 診療メモ

## カテテルアブレーションに関して

名越内科 名越敏郎  
宮崎大学医学部第一内科

## 1. カテテルアブレーションとは

カテテルアブレーション治療は大腿静脈または動脈から心腔内にカテテルを挿入し、頻脈性不整脈の原因になる部分を、選択的に焼灼する治療法です。焼灼は通常高周波を使用し、焼灼温度は 55 前後に設定できるため、局所麻酔で可能な頻脈性不整脈の根治療法として、宮崎県でも複数の循環器専門施設で治療が行えるようになりました。

## 2. 治療対象となる不整脈は

対象の不整脈は、まず発作性上室性頻拍症 (PSVT) が挙げられます。この頻拍は突然始まり、速く規則正しく、息こらえやベラパミル(ワソラン)、ATP の注射で停止可能な不整脈です。心房や心室からの期外収縮が発作の引き金となりますが、これがいつ起こるかわからず、数時間続くこともあり、不安や恐怖を持っている方が多くいらっしゃいます。また心電図で WPW 症候群と診断されている方が頻拍発作を認めた場合もアブレーション治療のよい適応となります。いずれの疾患も 9 割を超える成功率です。

通常型心房粗動(心電図の  $P$ 、 $aVF$  誘導で鋸歯状波といわれる、陰性の心房波を示す)も成功率の高い不整脈です。これは興奮が右房の三尖弁周囲を反時計回りに巡回する不整脈で、三尖弁弁輪部と下大静脈間を線状焼灼することにより、巡回路をブロックし、その後は起こらないようになります。

心房頻拍は起源や巡回路を同定することが難しく、成功率は低かったのですが、最近では CARTO システムや EnSite, NavX システムなどのコンピュータシミュレーションで、回路も同定することができ、成功率も向上しています。

特発性心室頻拍といわれている、右室流出路起源(心電図では左脚ブロック、下方軸を示す)心室頻拍やベラパミル感受性左室起源(心電図では右脚ブロック、左軸偏位を示す)心室頻拍も根治可能な不整脈です。また心室性期外収縮でも右室流出路起源など起源が特定できれば根治可能です。心室性期外収縮は治療の対象にならないことが多いのですが、数が非常に多いときは心機能が低下することがあり、このときは治療を行います。また不整脈のために運動制限や就労制限を受けている方、QOL が著しく低下している方は、リスク等を十分に説明の上、治療を行うこともあります。

陳旧性心筋梗塞や心筋症に伴う心室頻拍は不整脈の起源が心室内膜側より深くかつ複数あることが多いため、アブレーション治療に難渋します。そのため、アミオダロンなどの抗不整脈薬や植え込み型除細動器と組み合わせたり、外科的治療を考慮したりすることもあります。今後は心臓穿刺後、心外膜からカテテルアブレーション治療を行う方法が開発されており、成功率の向上が期待されて

います。なお心室細動はあっという間に血行動態が破綻し起源の同定ができないため、カテーテルアブレーションよりも植え込み型除細動器の植え込みが第一の適応とされています。

心房細動は薬物療法だけでは発作を抑えるのは困難とされ、長年、非薬物療法の研究が行われていました。1998年、肺静脈からの異常興奮が発作性心房細動の引き金となり、肺静脈の異常興奮部位をカテーテルで焼灼することにより治療が可能であることが初めて報告されました。当初、アブレーション治療は右房から卵円窩を穿刺し、肺静脈内を焼灼していましたが、この方法では肺静脈狭窄を起こす危険性があり、その後、肺静脈—左房接合部周囲を左房内膜からリング状に焼灼する、肺静脈隔離術が行われるようになってきました。発作性心房細動では、90%を超える成功率を示す施設がある一方、心房細動が慢性化している症例や左房が拡大している症例では、根治が難しいのが現在の実情です。また心房細動のアブレーション後にも抗凝固薬や抗不整脈薬の継続が必要になることもあります。心房細動のアブレーションは治療手技の今後の進歩が一番期待できる分野です。

### 3. カテーテルアブレーションの成功率やリスクは？

発作性上室性頻拍やW PW 症候群、通常型心房粗動では90%以上の成功率が期待できます。右室流出路起源やペラパミル感受性左室起源の心室頻拍、心室性期外収縮でも同等の成功率です。但し、右室流出路起源やペラパ

ミル感受性左室起源であるかの診断は難しいため、カテーテルアブレーションを行っている施設に発作時と非発作時の12誘導心電図をFAXで送り、ご相談いただければと思います。

治療に成功しても再発することがあり(5%程度)、再度アブレーションが必要になることがあります。

アブレーションによる合併症は穿孔による心タンポナーデ、房室ブロック、脳血栓塞栓症などです。その頻度は対象疾患により異なりますが、約1~2%です。

### 4. 治療時間や入院期間は？

カテーテルアブレーションを行う前に、右房、ヒス束、冠静脈洞、右室に電極カテーテルを留置後、頻拍を誘発し、その頻拍回路を同定します。また、治療の後に30分程度待機し、再度頻拍が誘発できなくなることを確認し終了します。治療時間は対象疾患で異なりますが、治療前後の検査時間や止血時間を含め、およそ2~4時間です。入院期間は4日から1週間程度です。

カテーテルアブレーション治療のうち、発作性上室性頻拍、W PW 症候群に伴う頻拍、通常型心房粗動などは確立された治療法ですが、器質的心疾患に合併した心室頻拍や心房細動などはまだ発展途上の治療法といえます。今後、カテーテルの先端から冷水を流しながら焼灼するイリゲーションカテーテルや冷却凝固するクライオアブレーションカテーテルなどの新しいカテーテルも開発され、新たな手技も含め、より安全で確実な治療法として、ますます確立していくことが期待されます。

## 宮大医学部学生のページ

### 〔宮崎大学学園祭〕第 6 回清花祭 ＊一娛一笑＊

口蹄疫により開催も危ぶまれましたが、例年通り行うことが決定いたしましたのでお知らせします。今年のテーマは一娛一笑（いちごいちえ）です。

〔会場〕 宮崎大学 清武キャンパス・木花キャンパス

〔日時〕 11 月 20 日（土）・21 日（日）

ここで、今年のイベントと企画を一部ですが紹介します。

#### みこし企画

清花祭の前日（11 月 19 日（金））にみこしパレードを行う予定です。午後 1 時頃から栄町街区公園を出発し、高千穂通り、橘通り、県庁前など、宮崎の中心市街地を練り歩きます。今年も、大学内の各学部が丹精込めて作った神輿を自分たちで担ぎます。時間のある方は、みこしパレードにも是非、足を運んで下さい。

患者さんの気持ち 看護師さんの気持ち お医者さんの気持ち 企画

本企画は患者、看護師、医師など医療に関わる多くの人々の『本当は伝えたかったのに伝えられなかった思い』を募集し、集まった作品を 1 冊の冊子にまとめ、無料配布するほか、清花祭にて一部を展示します。医療に関わる人々の相互理解が深まり、よりよい医療につながっていくことを目標にしています。

#### Café de aroma

医療とアロマセラピーに関する展示や、ハーブティーやアロマオイルを使ったハンドマッサージの体験など、アロマを身近に感じてもらえる癒しの空間を提供します。

#### 年齢企画

この企画では、脳年齢・骨年齢・体力年齢を来場された方々にゲーム感覚で測定していただきます。自身の健康に興味や関心を持っていただくことが目的の企画です。

#### こども企画

学祭に来てくれた子供達と企画員でさまざまなゲームをする“ミニ運動会”を開催します。毎年多くの子供たちが集まり、盛り上がる楽しい企画です。

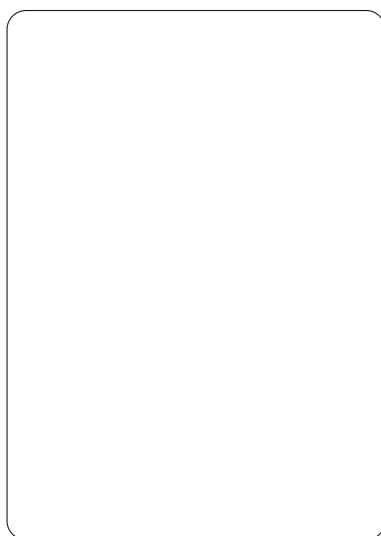
#### 解剖・病理企画

人体の仕組みや様々な病気について、一般の方々にわかりやすいパネルや実際の病理標本や臓器標本などを展示し、来場された方々に、勉強した医学知識を発表する企画です。今年度は「ガン」を主題として展示を行う予定です。

## 宮崎大学清花祭特別講演会

## 「アンコール小児病院を通して見た国際医療」

講演者 赤尾 和美さん [アンコール小児病院看護師]



赤尾 和美 さん

日 時 2010年 11月 6 日(土) 開演 13: 00 (開場 12: 30)  
会 場 清武町文化会館 半九ホール  
主 催 宮崎大学清花祭実行委員会  
共 催 清武町文化会館  
後 援 宮崎市教育委員会・宮崎日日新聞・M R T 宮崎放送  
宮崎大学医学部後援会  
料 金 参加無料

## 応募方法

はがき：〒 889-1692 宮崎市清武町木原 5200 清花祭実行委員会

清花祭公式ホームページ：<http://www.kiyoka.jp>

いずれかの方法で、住所・氏名・年齢・電話番号・観覧希望人数(お一人様 2 名まで)を明記の上、お申し込みください。チケットをご住所まで送付いたします。

なお、応募多数の場合は先着順とさせていただきます、発送をもって代えさせていただきます。

【お問い合わせ】宮崎大学清花祭講演会企画

代表 岡部 ☎ 090-2082-7463

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

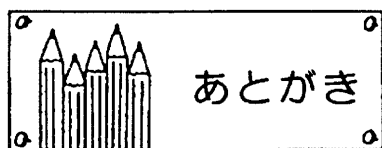
送付日	文 書 名
8 月 26 日	・「労災診療費算定基準(平成 22 年 4 月 1 日現在)」の送付について
8 月 27 日	・石綿関連疾患に罹患した労働者及びその遺族等に係る労災補償制度等の積極的な周知について     ・国内産新型インフルエンザワクチン A( H1N1 )ワクチンの医療機関在庫の引き上げについて     ・今シーズンの新型インフルエンザワクチン接種費用等について
8 月 30 日	・医療施設における施設の一部を共同で利用する場合の留意事項について     ・「病原微生物検出情報」,「病原微生物検出情報(普及版)」の送付について
8 月 31 日	・日本医師会会費減免に係る事務取扱について     ・(重要)新型インフルエンザワクチン医療機関在庫の返品について     ・新型インフルエンザワクチン接種事業について
9 月 6 日	・「使用上の注意」の改訂について     ・薬学部学生の実務実習の受け入れに関するお願いについて
9 月 7 日	・保険医療機関又は保険薬局に係る電子情報処理組織等を用いた費用の請求等に関する取扱いについて
9 月 8 日	・ニューデリー・メタロ-β-ラクタマーゼ 1(NDM-1)産生多剤耐性菌について     ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行等について
9 月 9 日	・多剤耐性アシネトバクター・パウマニ等に関する院内感染対策の徹底について     ・スクラブ等の不溶性成分を含有する洗顔料の使用上の注意事項について
9 月 11 日	・保健指導プログラムの評価及び解析結果に関する研修会の開催について
9 月 14 日	・我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査等について

送付日	文 書 名
9 月 15日	・今シーズンの新型インフルエンザワクチン接種費用について     ・新型インフルエンザ( A / H1N1 )ワクチンの接種等に係る委託契約の締結等について     ・精神保健指定の新規申請等に係る事務取扱要領の一部改正について
9 月 16日	・予防接種実施規則の改正等に伴う「予防接種ガイドライン 2010年度版」「予防接種と子どもの健康 2010年度版」の改訂について     ・死亡災害の増加に対応した労働災害防止対策の徹底について( 緊急要請 )
9 月 17日	・宮崎県特定健診・特定保健指導に関する実践者育成研修会の開催について
9 月 21日	・日本脳炎の定期予防接種における事故の防止について
9 月 22日	・労災保険における H IV 感染症の取扱いについて
9 月 24日	・元県立富養園の活用に取り組む民間事業の募集について     ・公知申請に係る事前評価が終了した適応外薬の保険上の取扱いについて     ・健康保険被保険者証の券面表示の改正について     ・「医療機器の保険適用」及び「特定保険医療材料の定義についての一部改正」について

-----

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
c	d	e	c	a	c	e	d	e	b



## あとがき

石飛幸三著『「平穏死」のすすめ』を読みました。医師として最期が近づきつつある患者さんのことを家族に説明する時、いつも「隔たり」を感じてきました。核家族化がすすんだ現在社会では「死」は日常から切り離され、いきなり身内の死について考えるように言われてもイメージがわからないからだと思います。昔は大家族のなかで子供の頃から祖父母や親戚の死を見て、一緒に暮らしてきた人間の死を小さな頃から体験してきました。両親や親戚が家族の死を迎える準備、亡くなった後の葬儀のやり方をみて自然と死というものを経験し考え身につけていったのだと思います。一方私は医師として多くの死を経験し一般の方より死について分かっているつもりでした。しかし私の経験してきた死は「病気が治らなかった、あるいは治せなかった後にくる死」であって点滴や胃瘻チューブが入り、酸素が流され、心電図のモニターがついた状態で迎えることがごく当たり前になっていました。自分自身や自分の家族はこういう最期は迎えたくないと心のすみで思いながらも、何もしないことへの罪悪感から仕事をこなしてきました。石飛先生がご指摘された「人間には寿命があり必ず最期がある」という当たり前のことをもう一度考えてみました。先生の施設で高齢者の方々がご家族とともに平穏に死を迎えた様子を知ると、死を迎えることについてもう一度医師としてあるいは自分自身のこととして考え直さなくてはならないと思いました。(田坂)

* * * * *

8月のことです。産婦人科内視鏡学会に行った際にロボット手術の3D LIVEがありました。映像はすばらしかったのですが、学会場で全員が同じ特殊めがねをかけて映像に見入るのもまた異様な感じがしました。アメリカを中心にすでに90か所の病院に設置され、おとなり韓国にもずいぶん入っているようです。今後の外科手術の方向性を示すものと感じました。また外科でも流行りの膈一孔式が婦人科でも流行りつつあり、早速腹腔鏡手術の孔減らしにトライしていますが、正直やりにくい!(この歳になっても)日頃のトレーニングが、まだまだ必要ようです。とほほ。(和田)

* * *

平成22年7月、交通事故・任意保険において「人身傷害保険」が一部を除き特約扱いから外れ、任意保険本体に組み込まれました。主な理由は、行政指導による人身傷害保険支払い規約の周知・徹底(不払い問題)、保険料値上げ(保険金請求の増大に対応)です。しかし、医療現場ではこの「商品」のメリットが正しく理解・周知されず、一部混乱が生じています。特に「労災指定医療機関」においては、早急な知識の共有と連携が望まれます。(尾田)

* * *

先日、私の祖父の五十回忌が行われました。9歳になって尚闊達な父が総代を務め、親戚も多く集まり、無事に法要が執り行われました。一般には、五十回忌をもって「弔い上げ」とすることが多く、戒名を過去帳に移し、お骨を土に返すようです。さすがに50年という月日は長く、その間に父の兄弟9人のうち5人は祖父の元へ旅立ってしまいました。従って叔父、叔母の出席は半分で、代わりに従兄弟達が出席することになりました。家族の絆が失われつつあると言われる今日ですが、先祖に思いを馳せる貴重な一日でした。(坪井)

* * *

日州医事の読者へのアンケートで、面白かったページに「ドクターバンク」が挙がっていたことがありました。そう聞いてよくよく医師求人ページを見てみたら...!こんなに医者が足りないんだとか、10人以上も医師募集中の今はどうやってやりくりしているんだろうとか、県内諸地域に思いを馳せて、確か

に読み応えを感じました。宮崎大学の入試に県内枠が新設されていますが、その学生が卒業して臨床に出るのはまだ数年先。現場の先生たちは魅力ある質の高い研修をと努力し続けていますが、数年後の「ドクターバンク」はどう変化するのでしょうか、乞うご期待!(彦坂)

* * *

朝晩涼しくなり、編み物好き女子には楽しい季節がやって来ようとしています。身内の話で恐縮ですが、唯一の姉妹である姉が8月に入籍しました。そして12月に結婚式を行います。そこで、あみぐるみ(毛糸で編んだぬいぐるみ)のウェディングティーパーをプレゼントしようと製作中です。これからずっと旦那様と仲良く暮らしていったほしいと願いを込めて、肩こりや眼精疲労と闘いつつ一目一目丁寧に編んでいるところです。(川崎)

* * *

最近、私の周りにも「新型 iPod touch」を持つ人が出てきました。購入した友達の話では、今回の新型では画像がより高画質になり、内蔵されているカメラではハイビジョン撮影ができるとか...羨ましい限りです。私が中学生のころはMDプレーヤーで音楽を聴いていましたが、一枚のMDには20曲入れるのが限界でした、それが今や1,000曲以上の音楽を気軽に持ち運ぶことができます。MDプレーヤーからの進歩の大きさに驚くと同時に、中学時代のことを思い返し、懐かしく感じました。(前田)

* * *

政権交代後医療界にとって、とりあえず医療費の削減にストップがかかり、オンラインの義務化もなくなりました。また最近気づいたことですが、鳩山政権により日米規制改革委員会が廃止され、驚くことにクリントン政権の時代から毎年突きつけられていた悪名高い「年次改革要望書」が2008年を最後に途絶えています。これはいい話ですが、ことによると悪い話かもしれません。医療界だけでなく我が国にとっても極めて大きなニュー・スだと思いますが、相変わらずどのテレビ番組もどの大新聞も報道していません。日本のマスコミはいつになったら自立できるのでしょうか。(済陽)

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

## 日州医談 特養入居者に係る医療行為について

去る6月に宮崎県福祉保健部から、特養における医療行為が算定できないという文書が出され、会員の多くから戸惑いの声が聞かれました。立元常任理事が、県にその真意を確認し会員へ通達し、また日医へ要望書を出した経緯につき解説されています。

4ページ

## メディアの目 「風吹けば…」

東国原知事の就任からはや3年半、鳥インフルエンザ騒動にはじまり、大々的PRにより全国区になった宮崎、そして口蹄疫の大波乱。MRT 宮崎放送報道局長の橋口氏がこの期間を振り返りコメントしておられます。

13ページ

## 診療メモ カテーテルアブレーションに関して

心腔内にカテーテルを挿入し頻脈性不整脈になる部分を選択的に焼灼するカテーテルアブレーションについて、治療対象や入院期間など名越敏郎先生がわかりやすく解説して下さいました。

72ページ

## 宮大医学部学生のページ

「宮崎大学学園祭」第6回清花祭(＊－娛－笑＊)が11月20、21日に清武キャンパス・木花キャンパスで開催されます。イベントと企画を紹介しています。

74ページ

日 州 医 事 第734号(平成22年10月号)(毎月1回10日発行)

発行人 社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目10番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail: office@miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 和田 俊朗・副委員長 尾田 朋樹

委 員 下園 孝司, 上野 満, 黒川 基樹, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子

坪井 康浩, 田坂 裕保, 彦坂ともみ, 川崎真由美, 前田 雄洋

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 済陽 英道

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)